

沖縄県がん診療連携協議会
2022年5月13日

資料6

沖縄県がん対策 関連データのアップデート

国際医療福祉大学大学院

教授

埴岡健一

はじめに



趣旨

- オープンデータから沖縄県のがんの状況を理解することができる部分があるのではないか。
- これまで適宜紹介してきたところだが、今回も、いくつか追加的にご紹介する。
- 議論や考察の一助になるところがあれば、幸いである。
- 沖縄県連携協議会として、重要データに関して、恒常的・定点観測的にデータ集がレポートされることが望ましいと考える。

目次

- 1 市町村別 標準化死亡比 (SMR)
- 2 都道府県別 年齢調整死亡率 40年間動向
- 3 都道府県別 年齢調整死亡率 25年間動向
- 4 都道府県別 年齢調整死亡率 県間差 40年間動向
- 5 都道府県別 年齢調整死亡率 県間差 25年動向
- 6 医療圏別超過死亡数 (累積図)
- 7 遺族調査結果
- 8 がん化学療法 部位別 実施状況 (NDB-SCR)
- 9 遺伝子マーカー等検査実施状況 (NDB-SCR)
- 10 免疫チェックポイント阻害薬 使用状況

パート1
市町村別
標準化死亡率



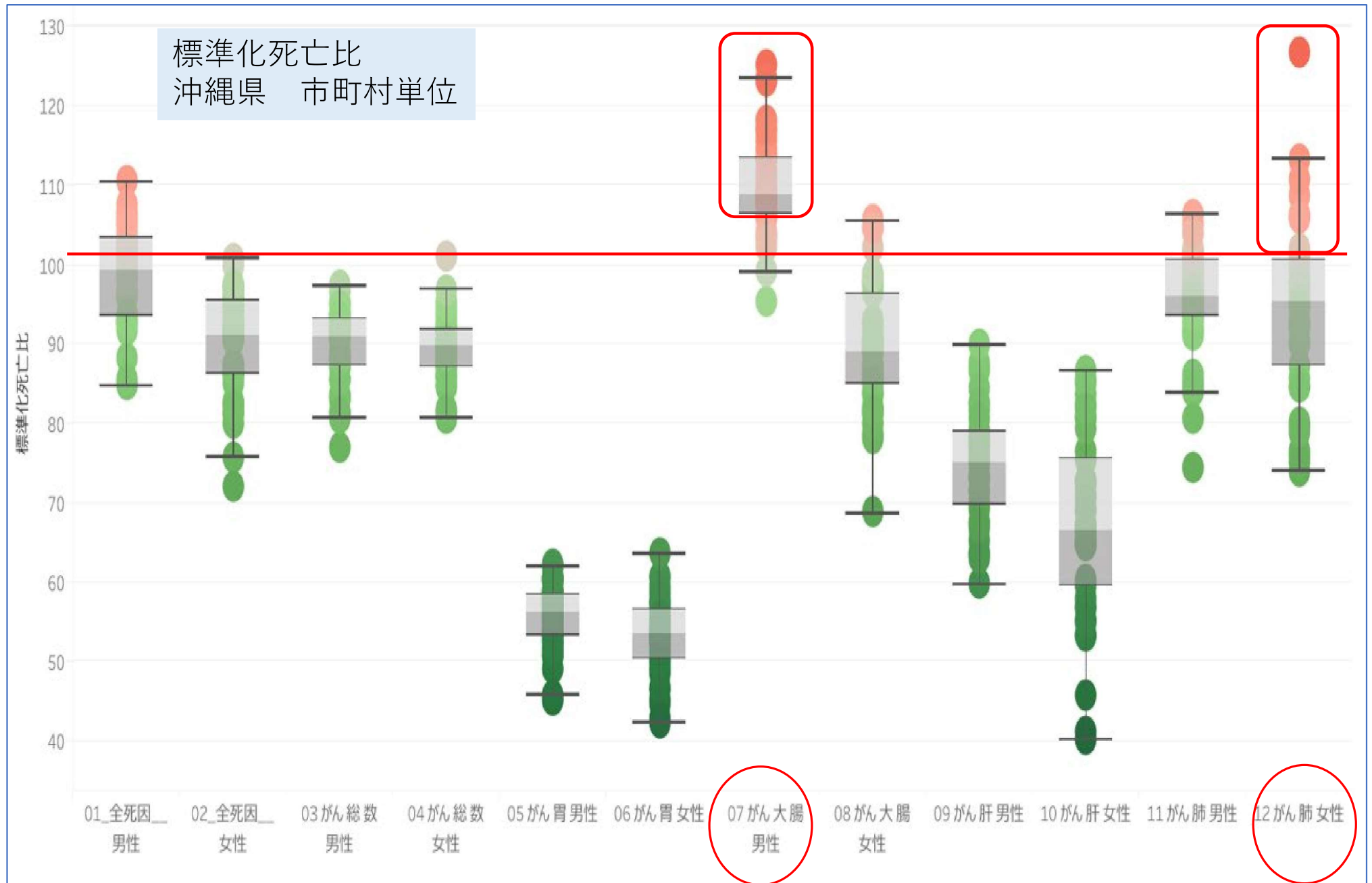
標準化死亡比：大腸がん（男）に注意。肺がん（女）もホットスポットが。

Id付地名	01_全死因 __男性	02_全死因 __女性	03がん総 数男性	04がん総 数女性	05がん胃 男性	06がん胃 女性	07がん大 腸男性	08がん大 腸女性	09がん肝 男性	10がん肝 女性	11がん肺 男性	12がん肺 女性
47沖縄県	99.3	90.5	90.2	90.7	56.1	54.1	111.2	91.4	75.0	68.3	95.1	95.2
47201那覇市	101.3	97.5	93.5	96.9	60.7	63.6	113.4	104.5	80.6	81.7	95.4	91.9
47205宜野湾市	97.9	86.8	87.8	88.4	55.4	54.7	103.0	90.4	63.0	40.1	103.8	105.8
47207石垣市	105.3	94.3	91.4	94.9	59.9	55.7	104.1	98.6	67.5	85.5	106.3	126.8
47208浦添市	92.8	86.5	87.8	90.5	51.9	58.3	123.4	96.4	79.0	45.6	80.5	94.5
47209名護市	98.2	82.0	81.3	81.6	45.8	42.8	106.1	68.8	82.4	68.7	84.5	75.1
47210糸満市	106.7	97.0	95.0	101.0	54.3	59.7	108.2	98.7	77.8	55.4	104.9	106.0
47211沖縄市	100.7	94.6	92.3	93.8	60.1	57.4	117.1	97.6	66.8	86.6	96.2	93.0
47212豊見城市	92.8	81.1	85.5	85.7	58.8	50.0	118.3	81.7	79.0	70.5	93.4	74.0
47213うるま市	107.6	91.0	97.4	94.1	61.8	57.4	123.2	85.2	77.0	72.4	102.0	110.8
47214宮古島市	105.4	96.6	92.9	81.3	54.0	42.3	125.0	79.8	73.0	56.7	101.1	95.6
47215南城市	93.9	85.1	88.5	89.2	58.0	48.6	99.1	97.8	89.9	54.8	91.1	113.4
47301国頭村	102.4	87.5	90.4	85.9	53.4	48.8	116.8	78.1	69.1	53.2	93.9	84.7
47302大宜味村	104.2	90.7	93.0	88.4	60.3	59.0	113.3	91.4	73.3	57.8	97.5	102.0
47303東村	96.7	92.9	91.7	92.6	58.9	55.4	111.4	92.9	73.3	72.8	98.8	97.6
47306今帰仁村	85.4	81.2	81.2	87.1	52.6	46.7	95.3	81.2	70.3	66.6	93.6	78.7
47308本部町	99.1	91.6	94.8	93.3	56.2	60.7	102.1	102.2	69.6	79.3	100.5	90.1
47311恩納村	110.5	94.8	93.9	84.9	59.0	46.5	110.8	97.7	84.3	56.9	101.6	97.6
47313宜野座村	95.9	97.3	85.5	84.7	57.1	54.2	106.3	85.3	87.0	64.5	91.5	75.8
47314金武町	106.5	86.3	96.6	85.9	55.6	50.7	110.1	89.1	81.6	53.3	100.5	87.2
47315伊江村	103.8	92.0	92.2	88.1	56.8	54.3	105.7	89.2	78.4	80.8	100.5	84.6
47324読谷村	95.7	97.5	83.4	95.3	51.5	56.6	109.6	105.5	63.4	41.2	92.8	100.7
47325嘉手納町	105.7	85.9	95.3	80.9	62.1	49.3	106.0	85.8	87.7	64.6	100.9	80.0
47326北谷町	92.2	82.7	82.9	87.1	52.8	53.5	106.4	81.2	65.0	60.2	85.3	108.5

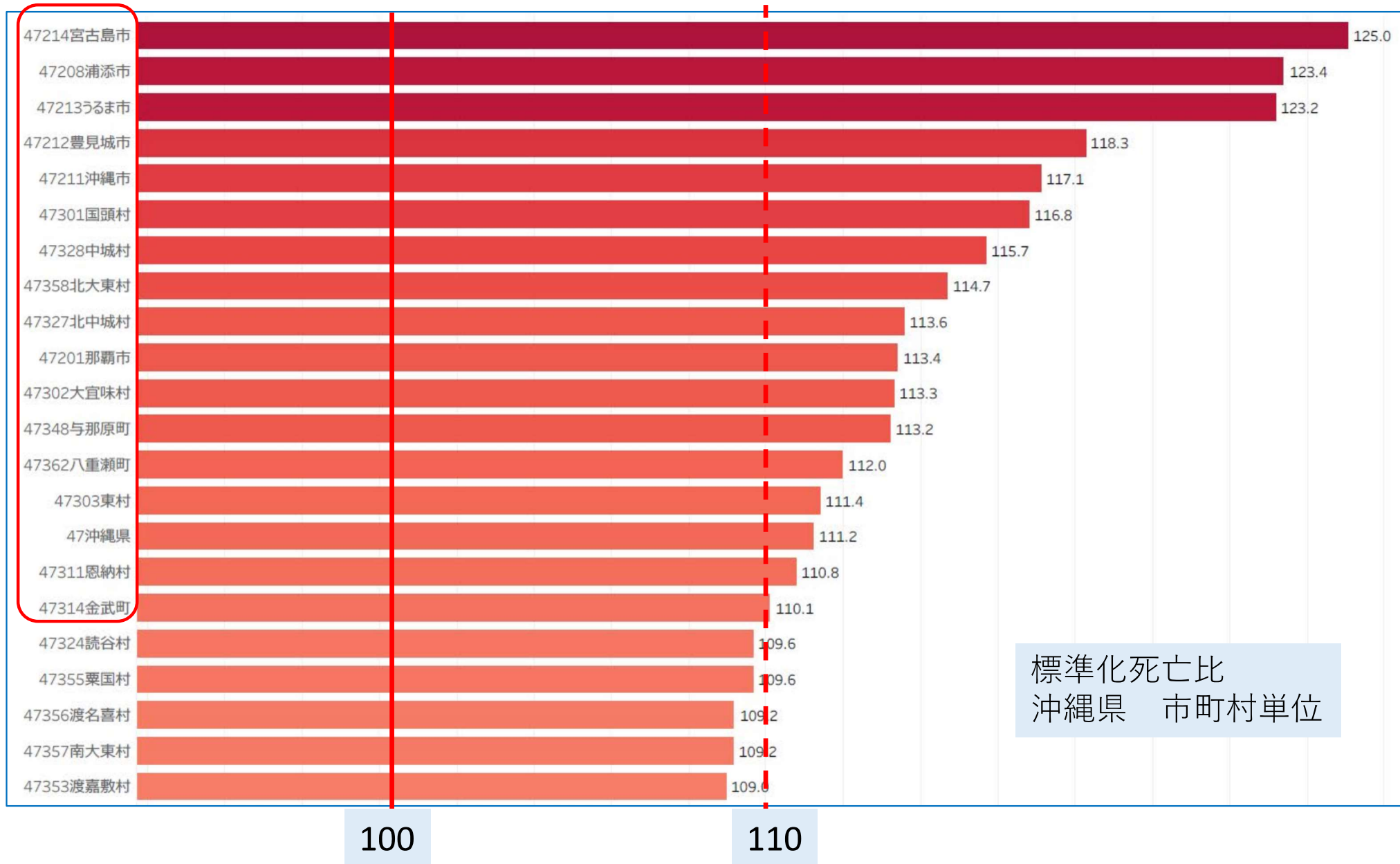
Id付地名	01_全死因 __男性	02_全死因 __女性	03がん総 数男性	04がん総 数女性	05がん胃 男性	06がん胃 女性	07がん大 腸男性	08がん大 腸女性	09がん肝 男性	10がん肝 女性	11がん肺 男性	12がん肺 女性
47327北中城村	88.3	71.9	83.3	80.7	44.9	44.7	113.6	82.0	59.8	75.4	86.1	79.8
47328中城村	92.8	75.7	87.3	91.6	57.5	50.3	115.7	97.3	77.0	69.2	97.3	76.4
47329西原町	84.7	82.4	80.6	89.8	53.6	51.4	107.6	90.3	63.5	85.0	84.0	97.1
47348与那原町	98.4	86.1	93.8	91.5	57.6	45.2	113.2	104.8	82.6	83.5	96.0	97.9
47350南風原町	84.8	79.9	76.8	86.6	49.0	52.3	103.4	78.7	67.5	71.1	74.3	85.7
47353渡嘉敷村	99.3	91.2	89.1	90.2	57.3	57.2	109.0	89.1	73.3	76.6	94.4	92.4
47354座間味村	101.7	99.8	92.0	90.0	54.9	53.1	108.6	89.0	73.0	66.4	93.9	97.7
47355栗国村	91.6	96.1	87.0	89.6	56.3	52.3	109.6	87.2	76.2	65.1	92.0	90.3
47356渡名喜村	100.3	94.1	90.9	90.3	55.1	53.5	109.2	89.9	77.8	67.0	98.5	93.3
47357南大東村	96.0	92.1	88.3	89.9	56.1	52.9	109.2	92.4	71.3	65.8	95.2	96.7
47358北大東村	101.8	91.6	92.1	91.5	57.6	53.6	114.7	90.2	77.9	67.3	95.0	99.2
47359伊平屋村	93.6	95.5	88.1	91.9	53.6	52.1	108.7	86.7	75.3	64.6	96.5	94.8
47360伊是名村	105.2	90.4	90.9	88.0	53.3	55.2	108.0	84.9	74.7	72.7	99.3	92.4
47361久米島町	99.9	95.5	91.8	92.0	60.4	53.6	108.2	83.5	63.6	80.4	94.8	99.3
47362八重瀬町	103.4	86.6	93.7	91.7	50.8	52.9	112.0	86.1	77.5	82.5	97.7	100.7
47375多良間村	102.9	96.1	93.6	90.3	50.5	52.4	106.9	87.4	71.5	65.1	95.5	106.2
47381竹富町	92.9	87.4	90.8	87.5	50.7	60.6	107.4	84.0	86.6	59.5	101.3	101.0
47382与那国町	100.2	100.7	91.3	89.2	58.0	56.4	108.5	87.3	75.1	65.0	96.5	95.3

出典：政府統計の総合窓口（e-Stat）人口動態統計特殊報告 / 平成25～29年 人口動態保健所・市区町村別統計、標準化死亡比（ベイズ推定値），主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別

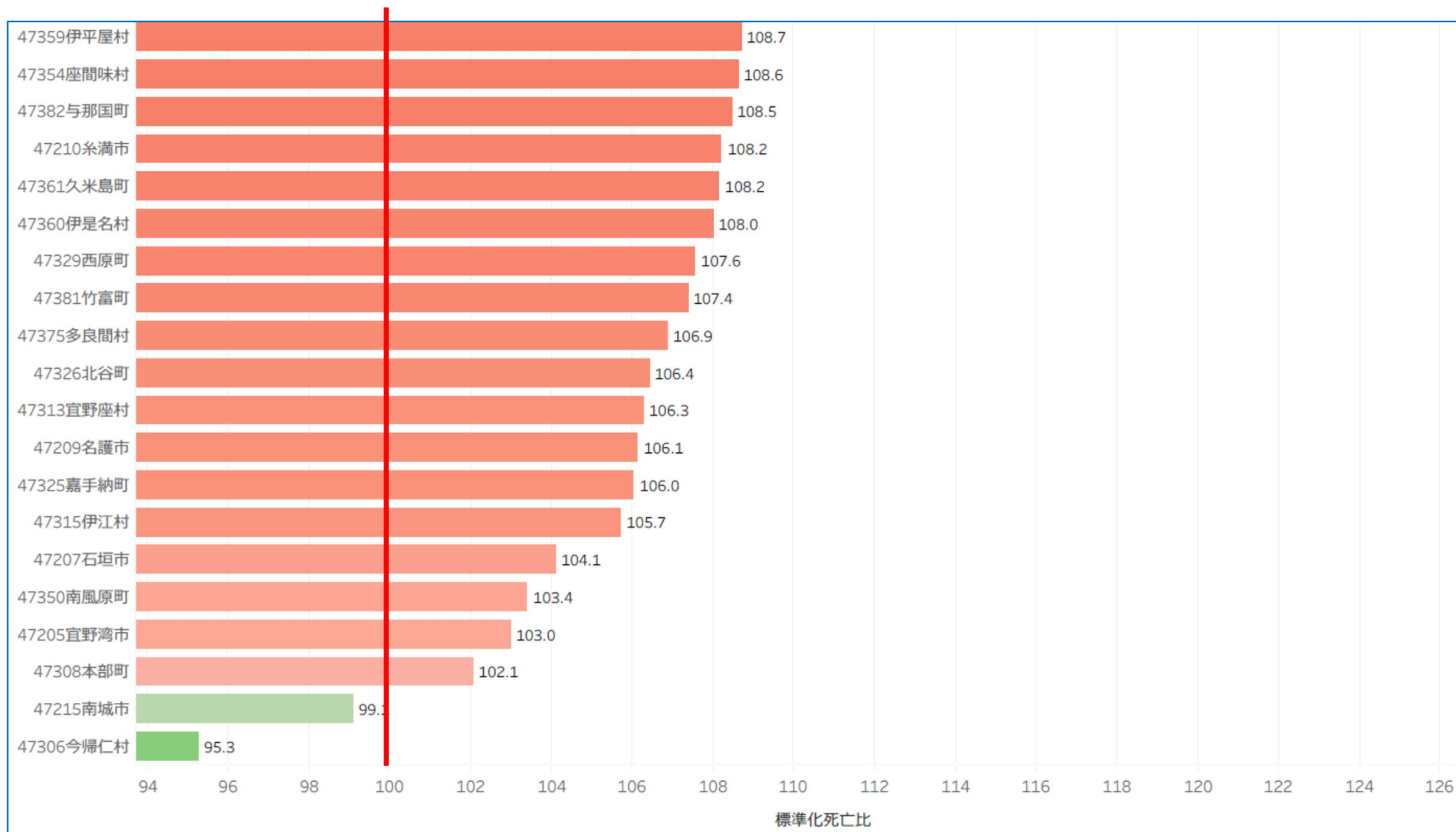
前2ページの数値を、箱ひげ図で表示。高値、外れ値の地域が確認できる



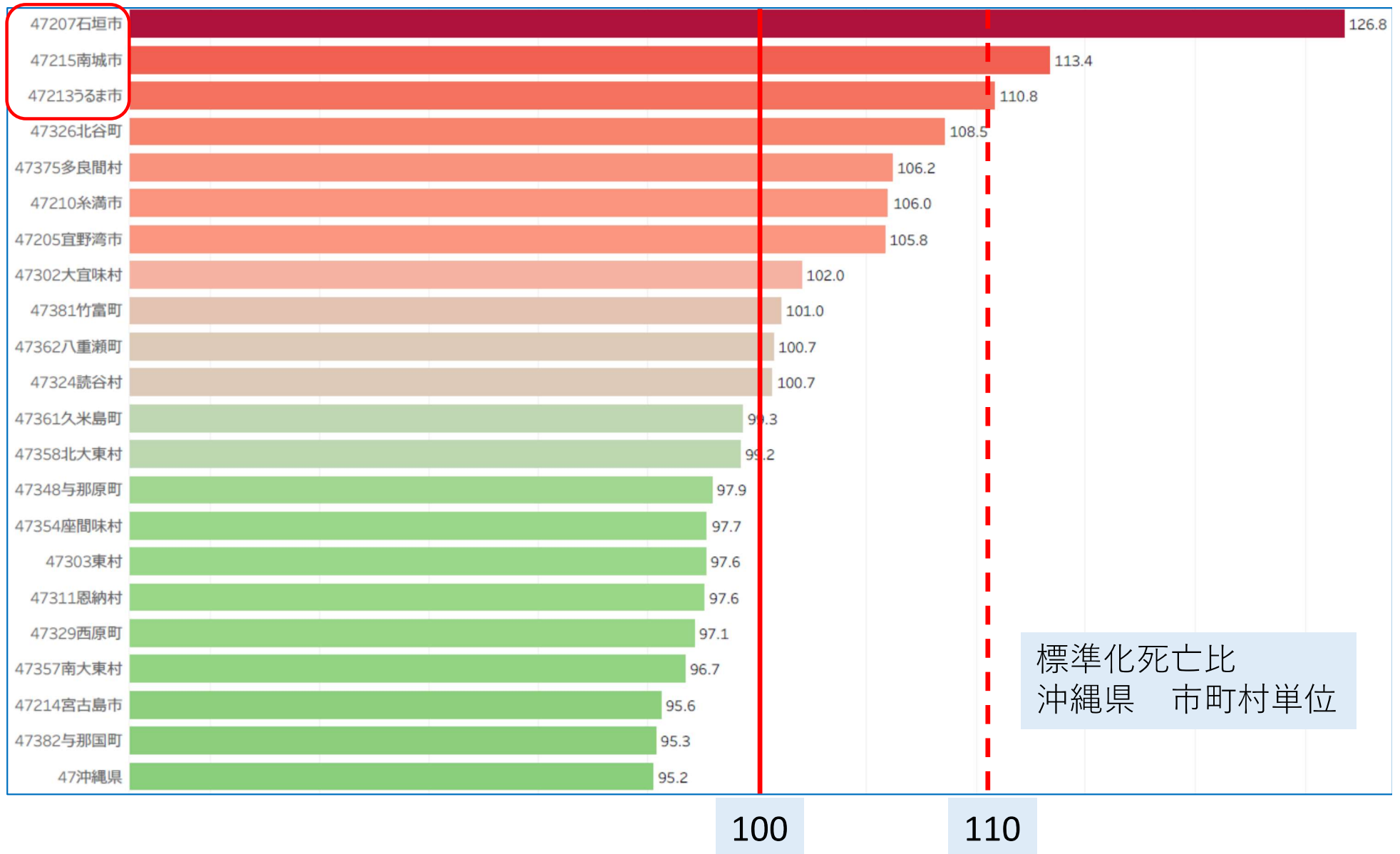
大腸がん 男



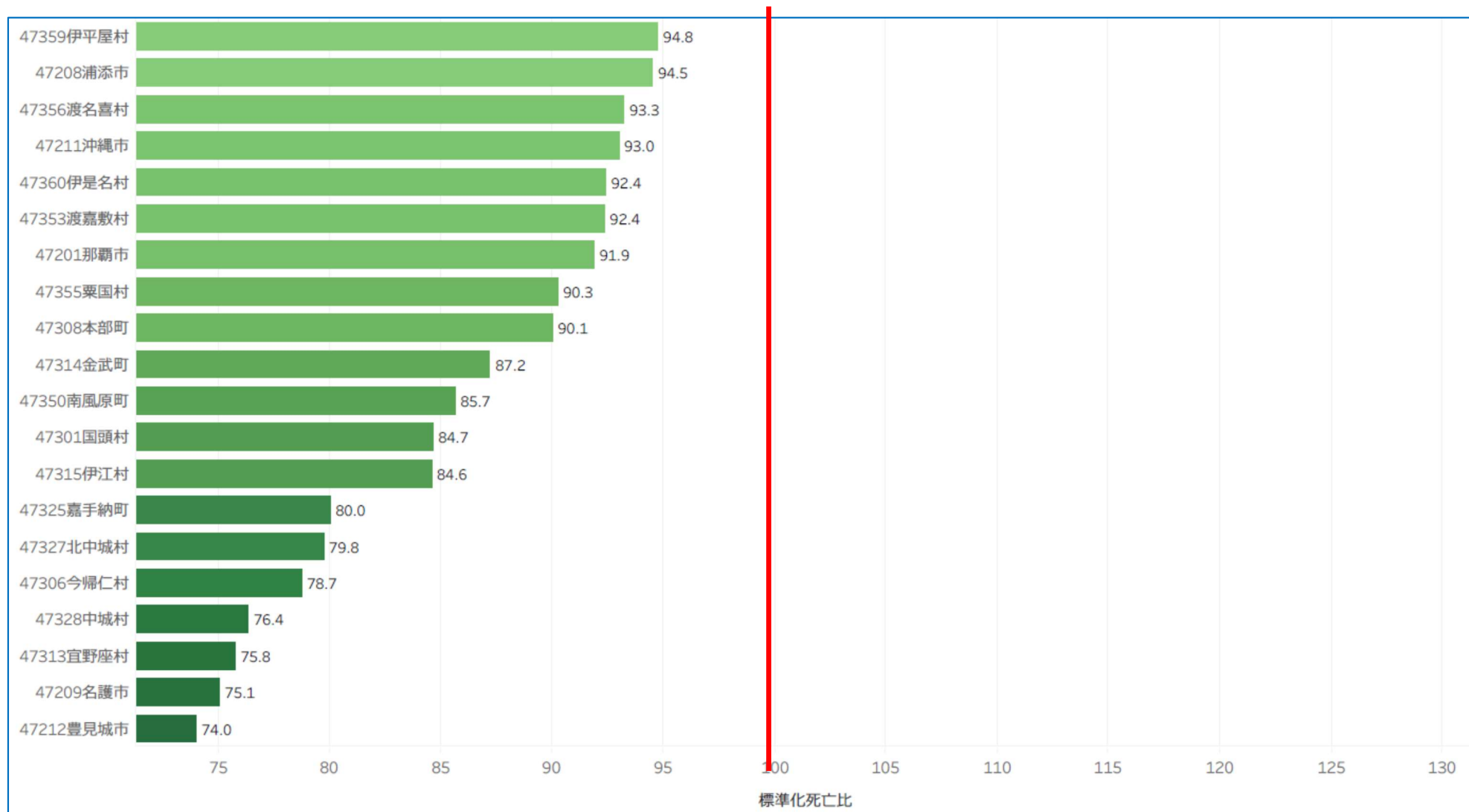
前ページ続き



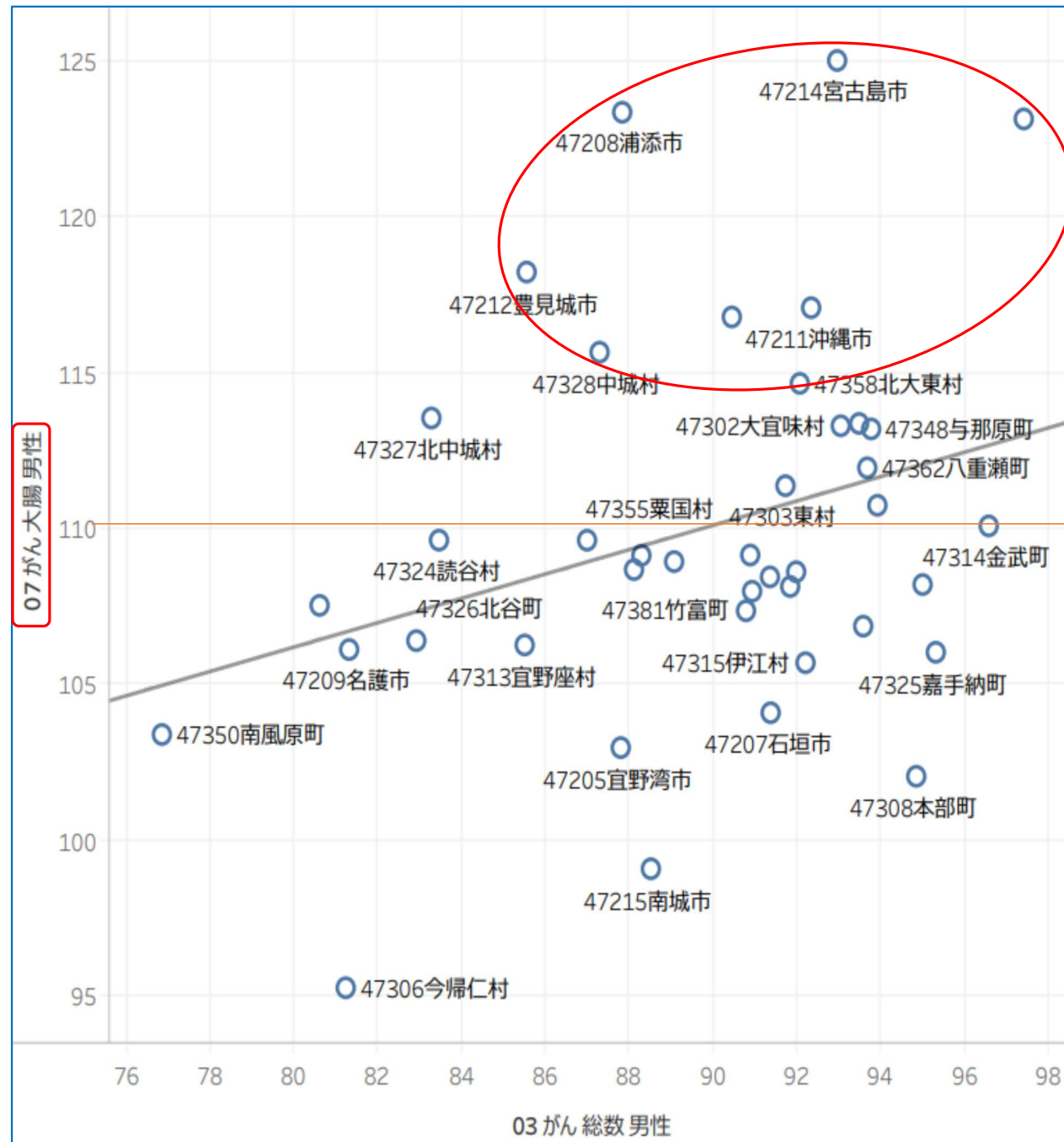
肺がん 女



前ページ続き



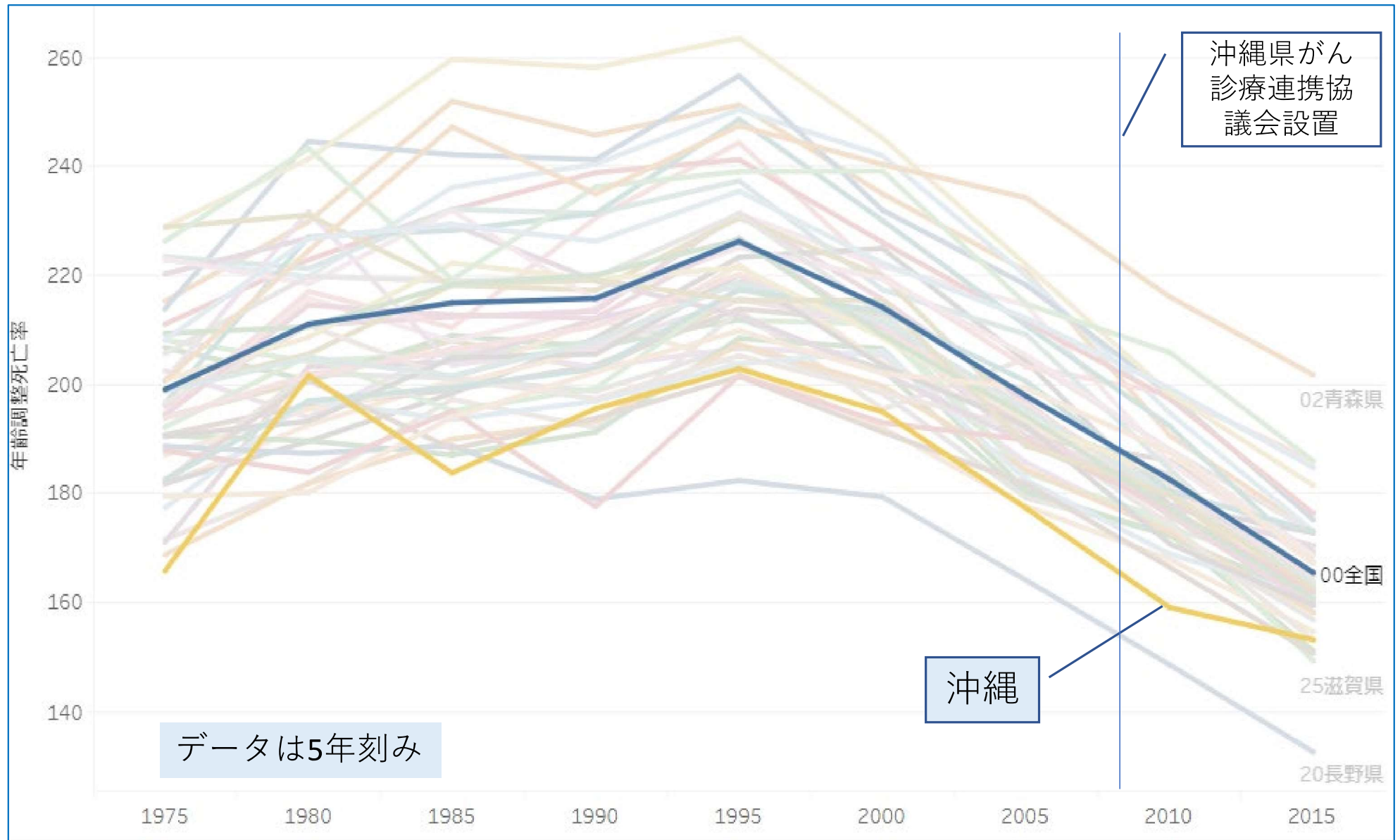
がん全体は少なめでも大腸がん（男）が特に高い地域があることに注意



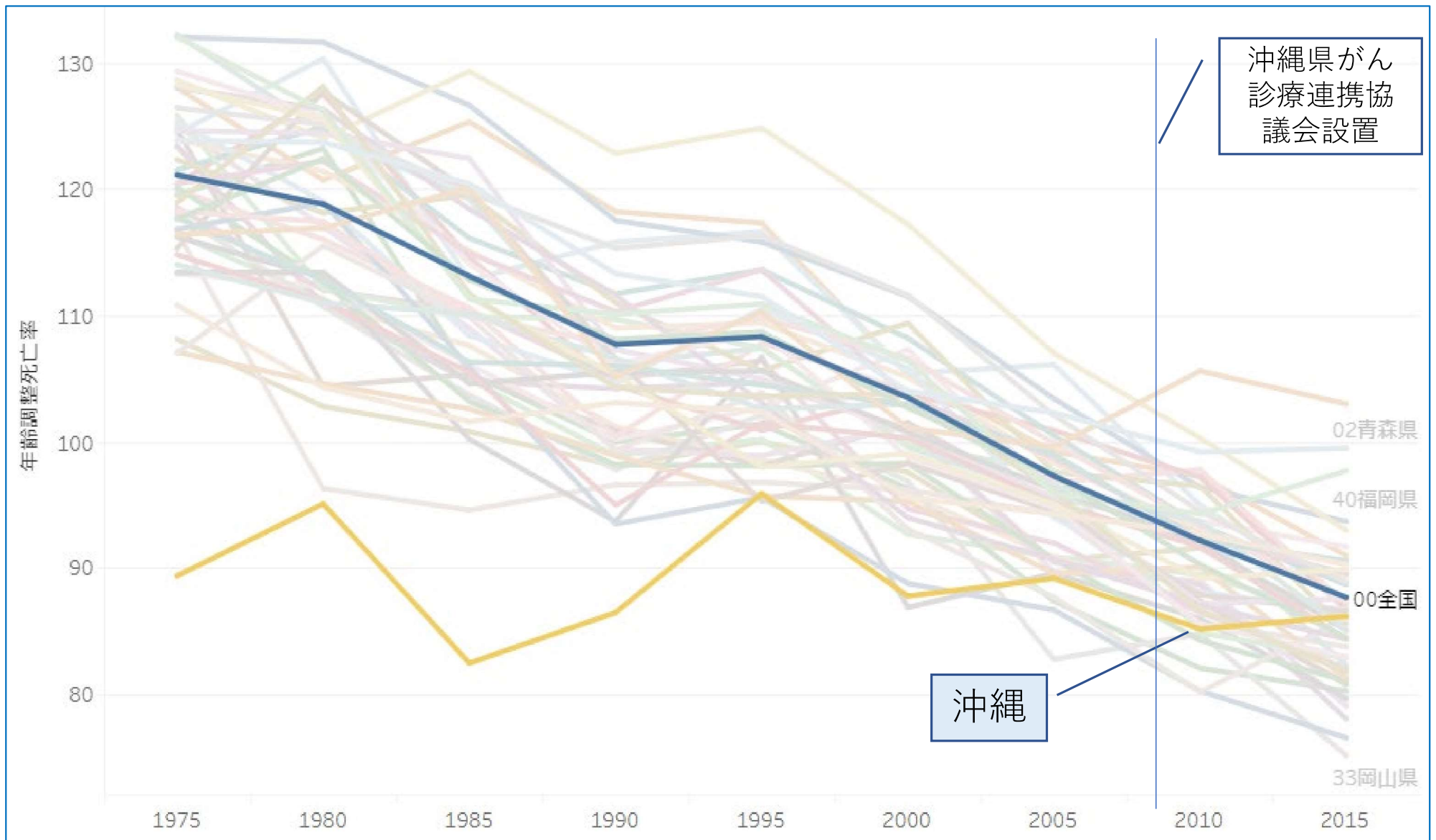
パート2
都道府県別
年齢調整死亡率
40年間長期動向



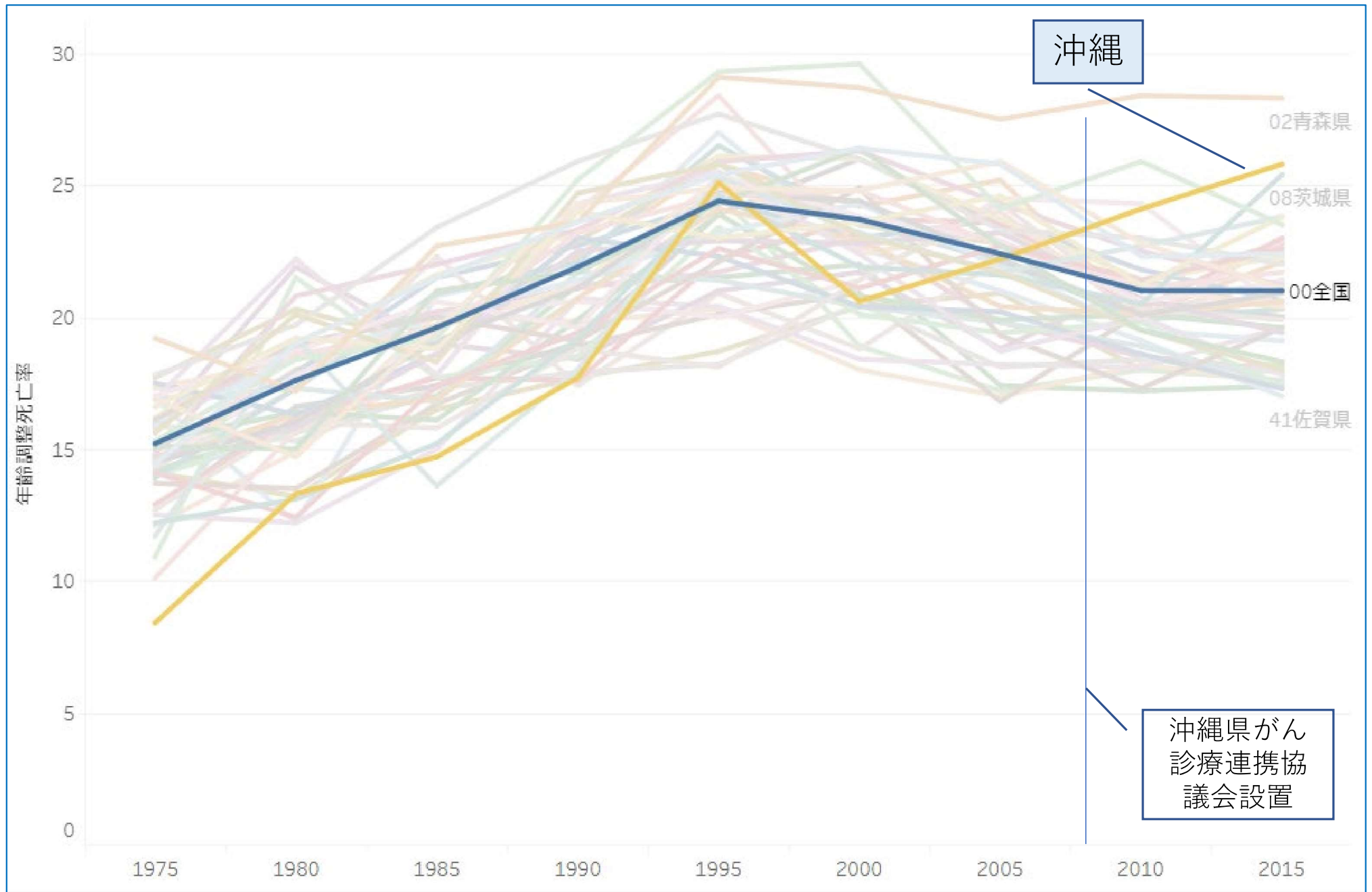
年齢調整死亡率40年推移 全がん（男）。ベスト2から中位方向へ？ 部位別に注意



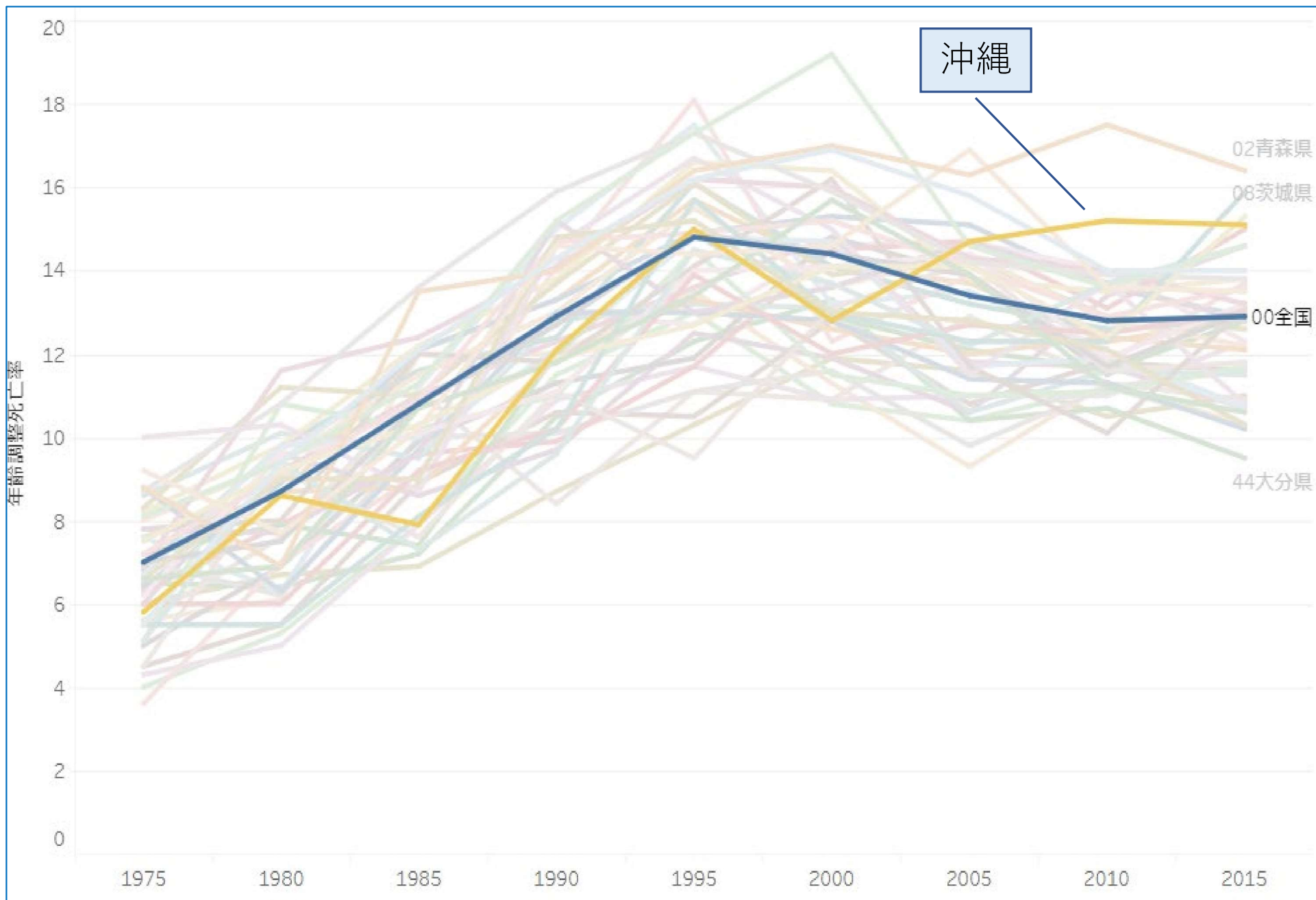
年齢調整死亡率40年推移 全がん（女）。急速に悪化。要因となっている部位の特定を



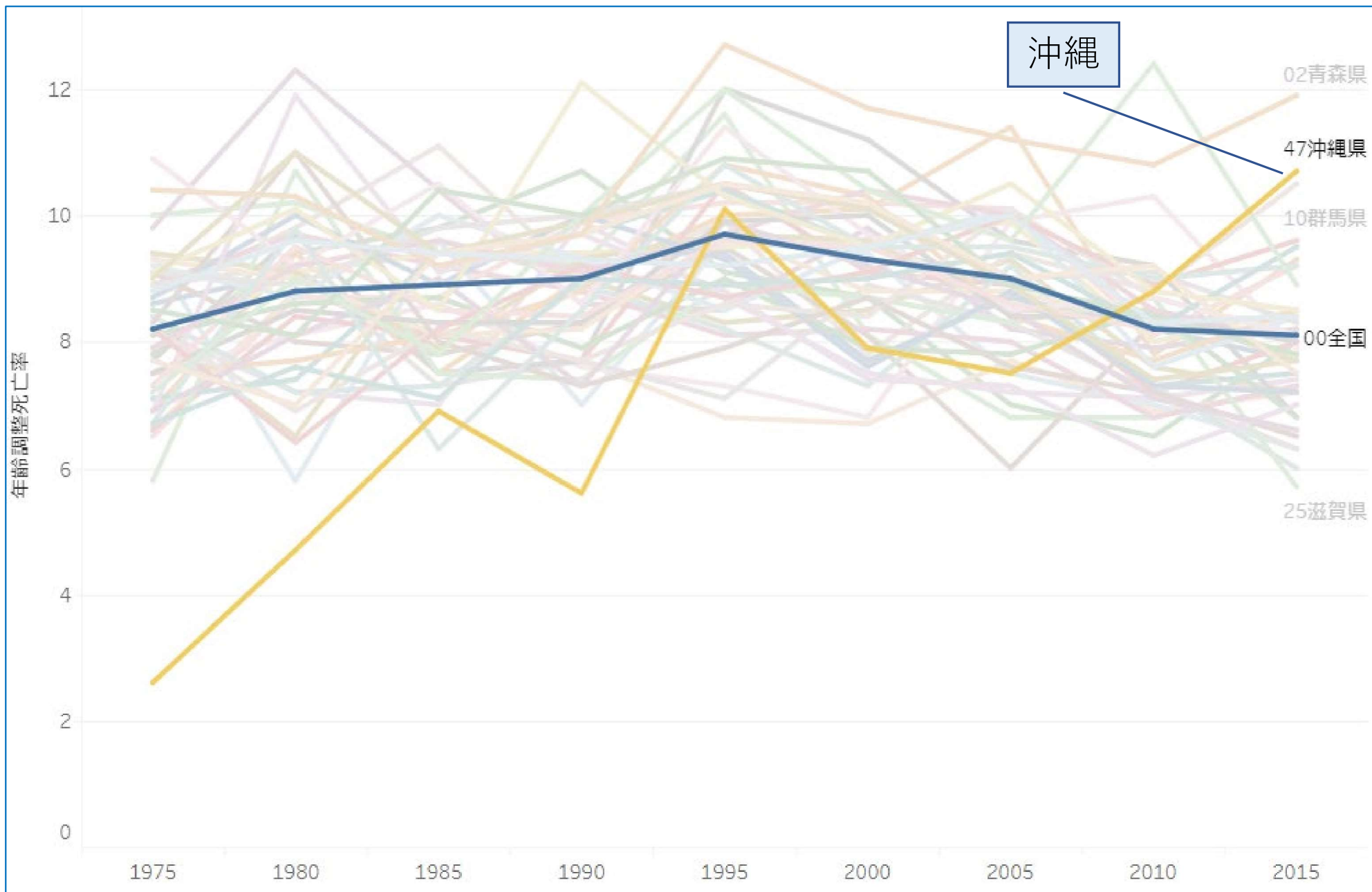
年齢調整死亡率40年推移 大腸がん（男）。全がんでは目立たないが大腸がんに注意



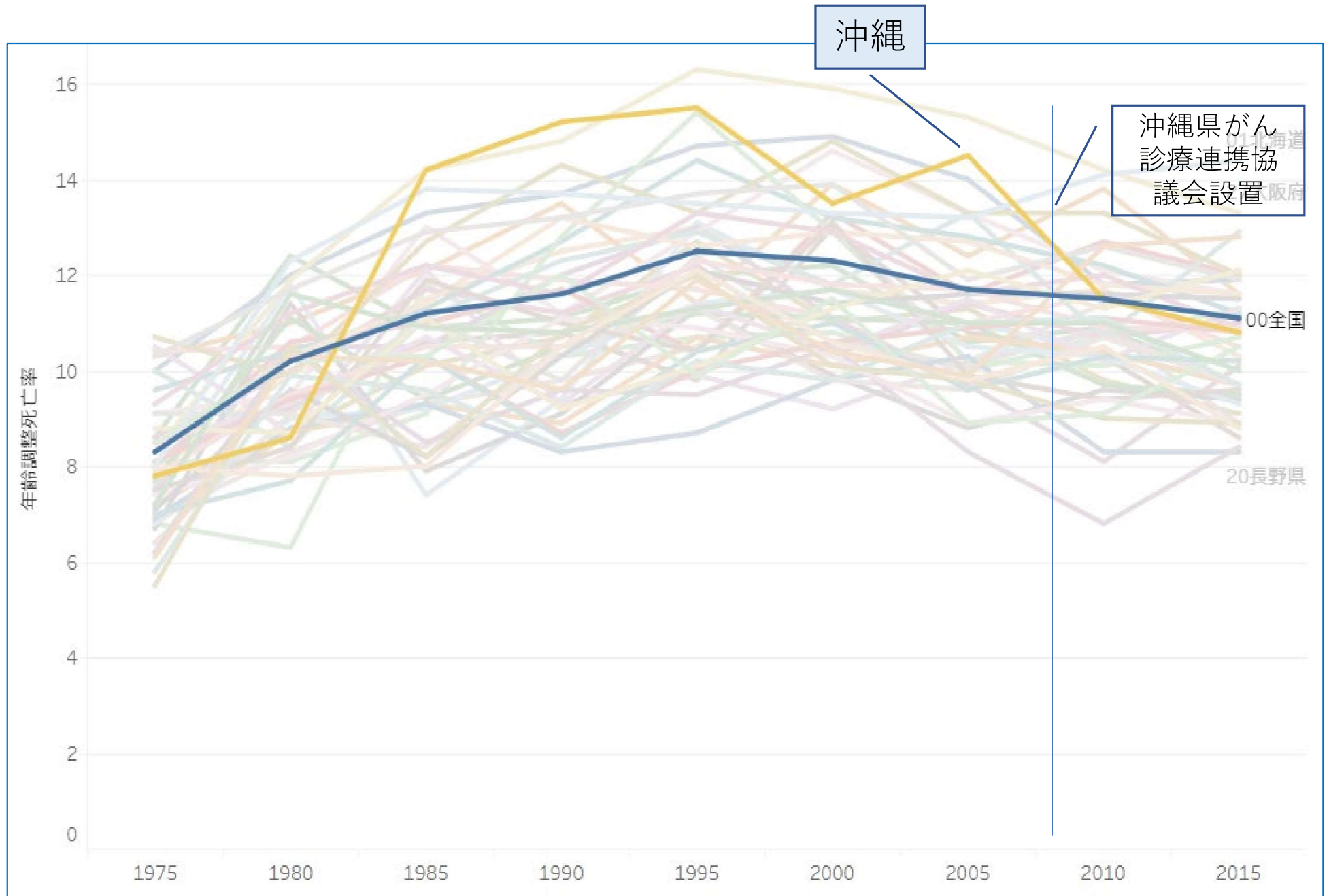
年齢調整死亡率40年推移 大腸がんのうち結腸がん（男）



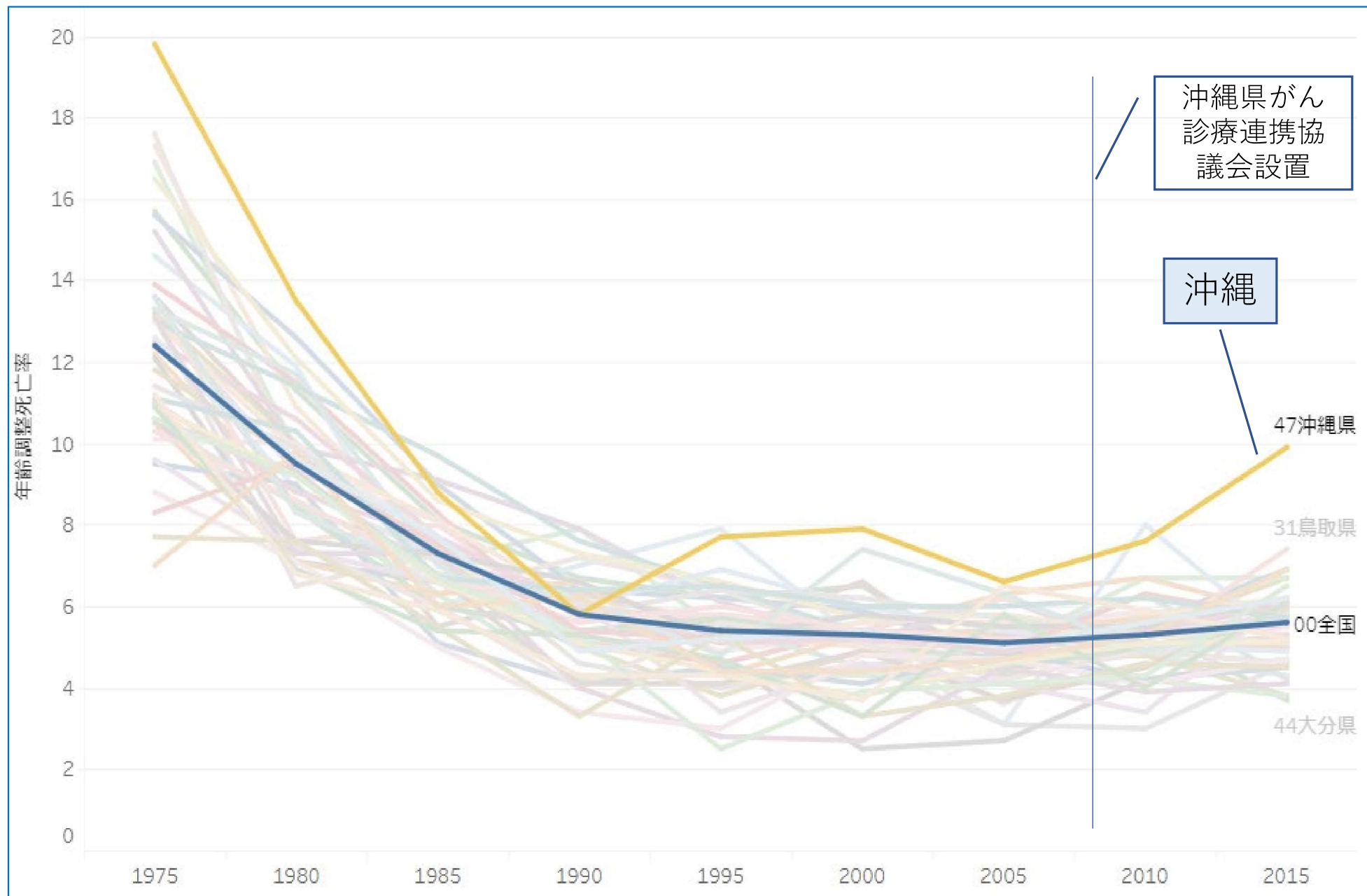
年齢調整死亡率40年推移 大腸がんのうち直腸がん（男）



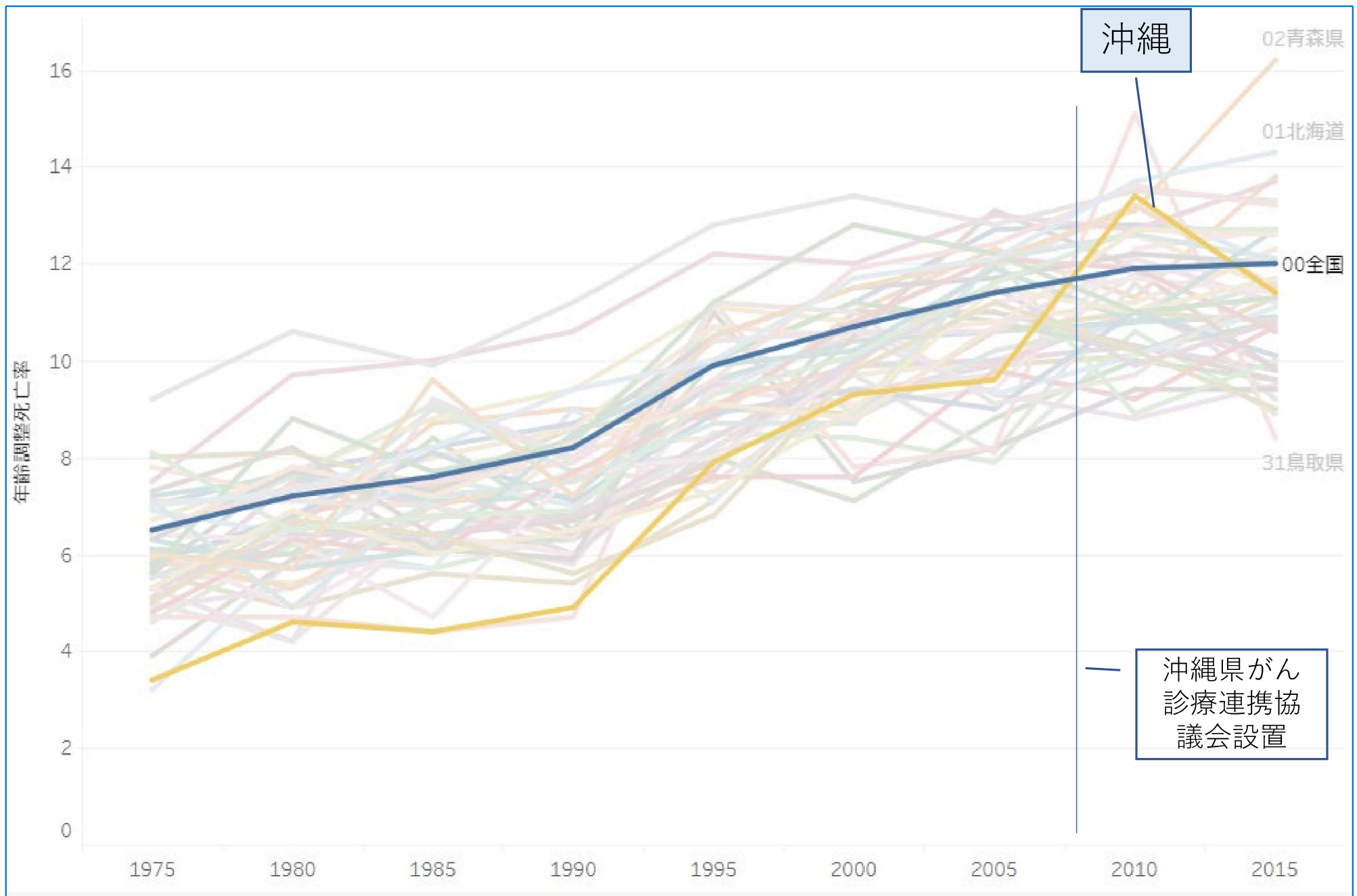
年齢調整死亡率40年推移 肺がん（女） 県全体では中位だが、高い医療圏が残る



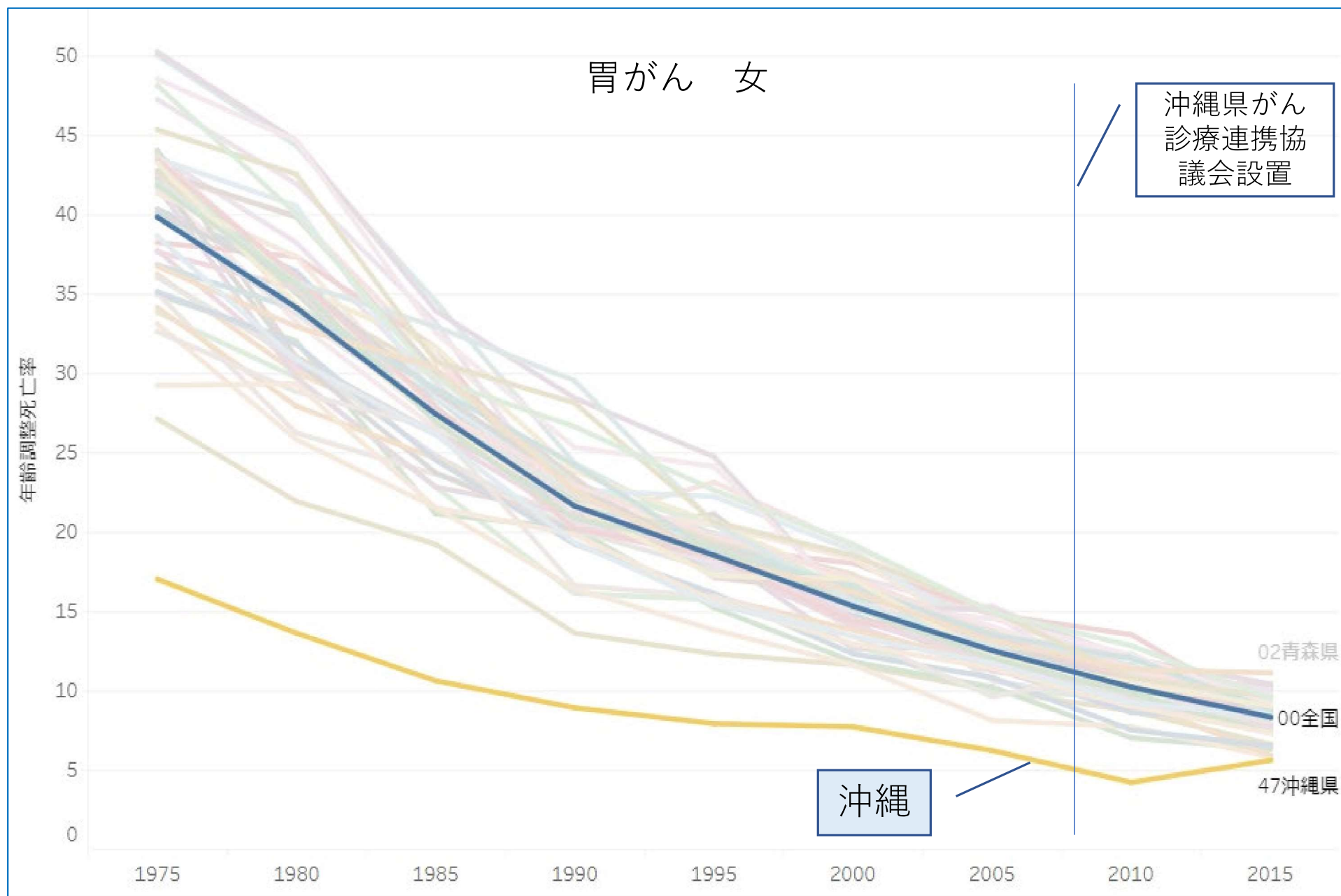
年齢調整死亡率40年推移 子宮がん 全国値は下げ止まり。沖縄は増加



年齢調整死亡率40年推移 乳がん 全国値は上昇 沖縄はベストから中位へ



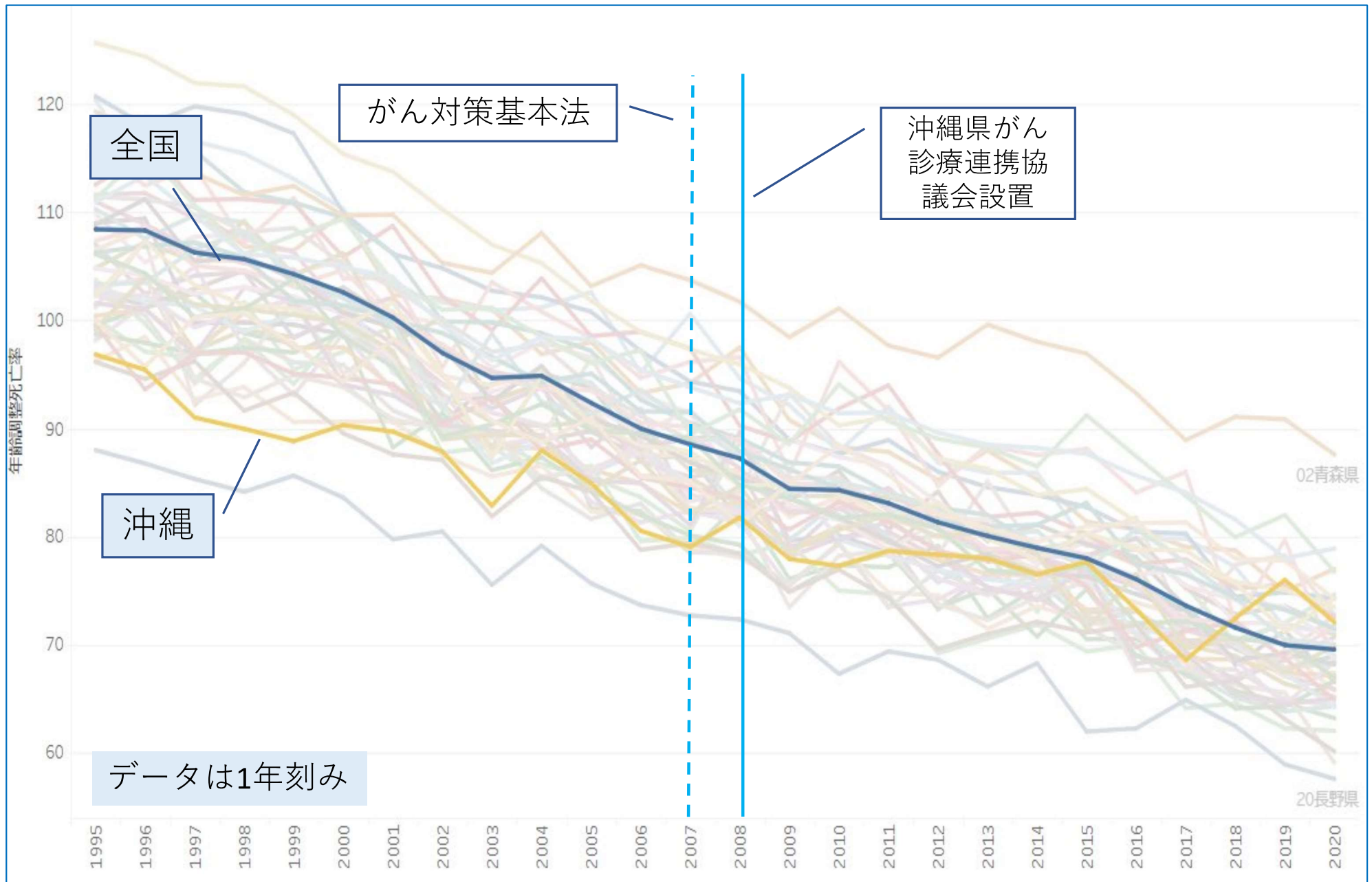
年齢調整死亡率40年推移 胃がん（女） 全国値は急減、沖縄は増加し中位方向へ



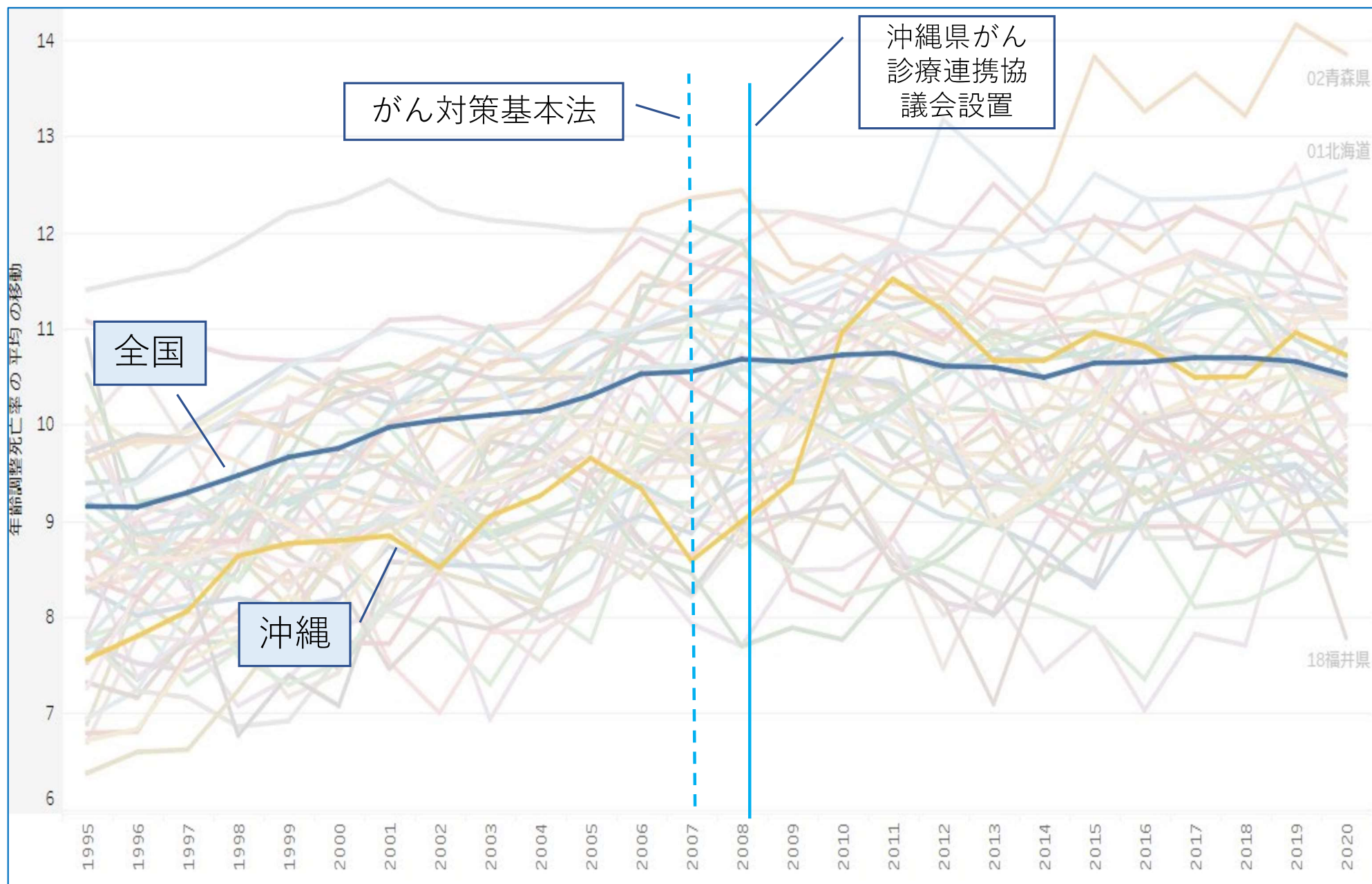
パート3
都道府県別
年齢調整死亡率
25年間長期動向



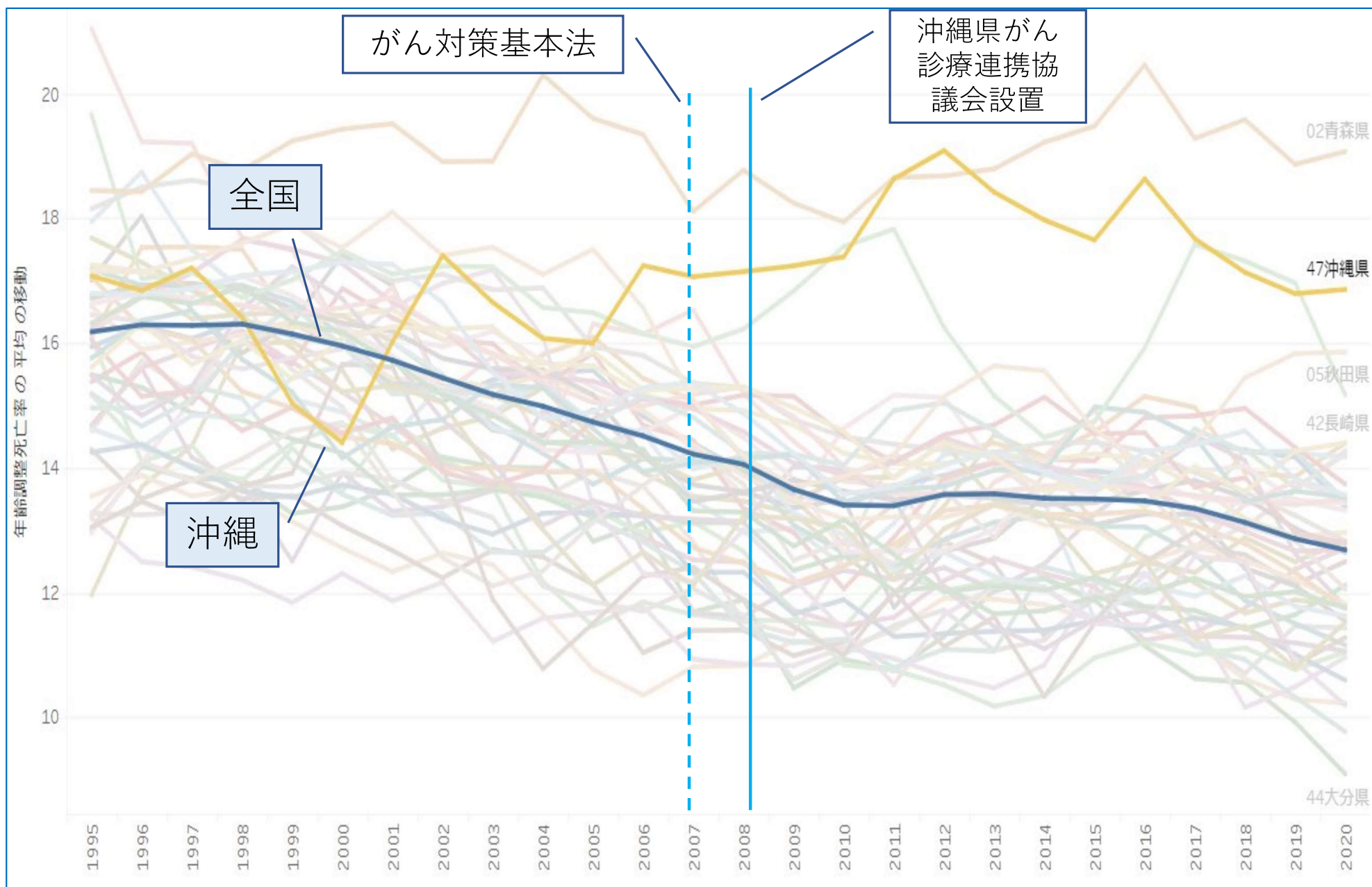
死亡率25年推移 全がん（男女）。全国値、減少の加速なし。沖縄県は相対的に上昇



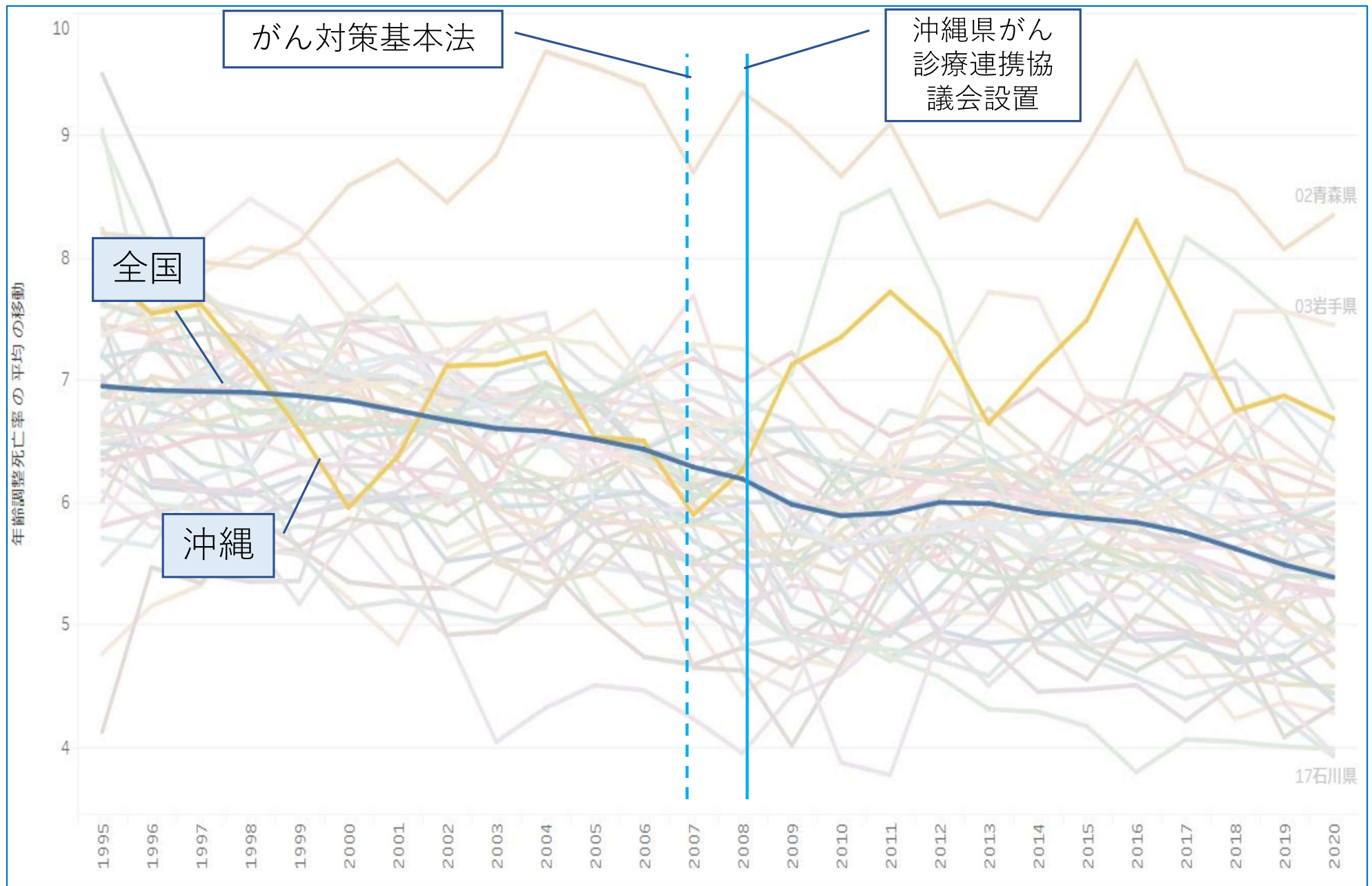
死亡率25年推移（3年移動平均） 乳がん。全国より下から上へ。



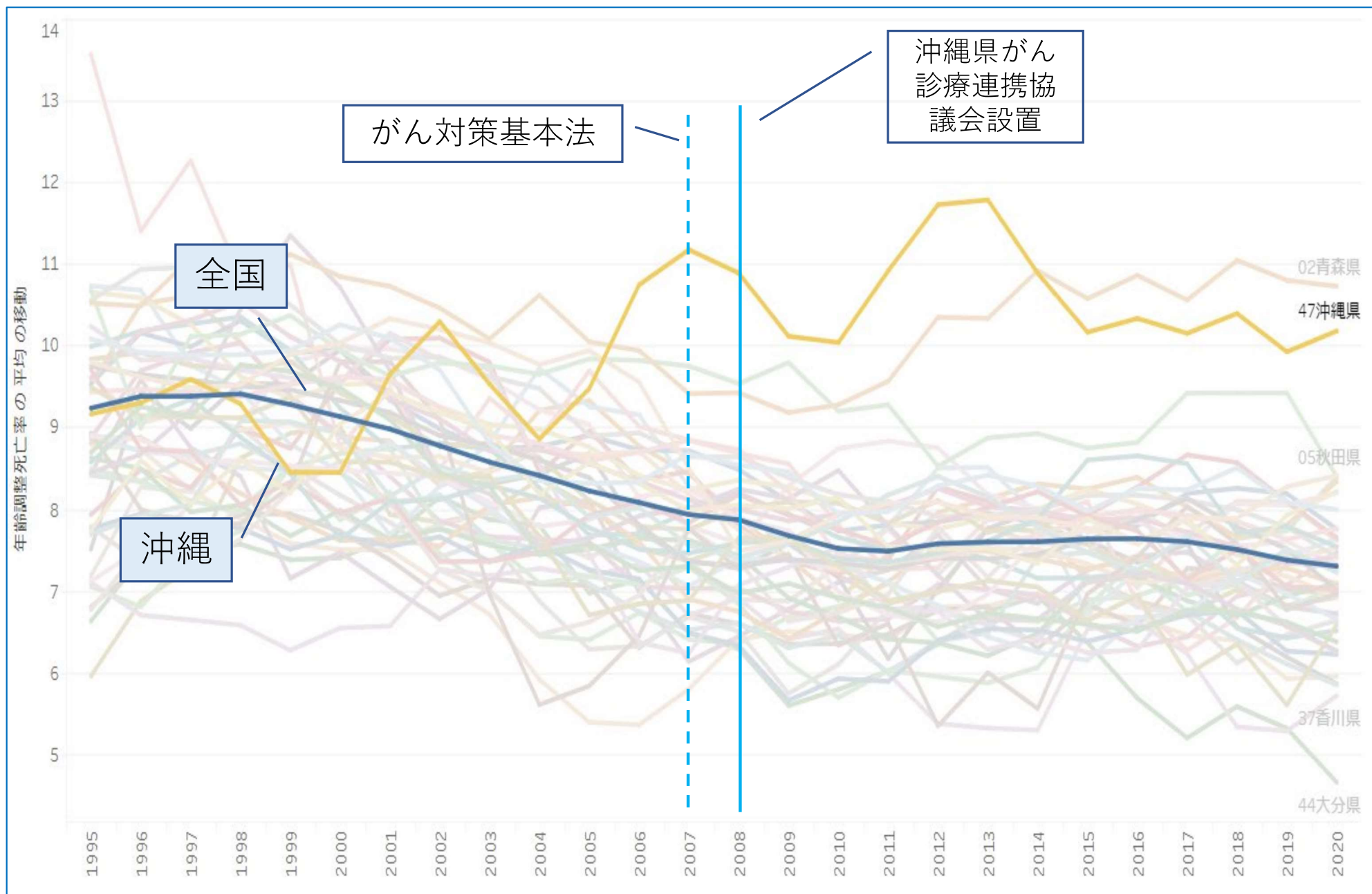
死亡率25年推移（3年移動平均） 大腸がん（男）。全国ワーストレベルへ



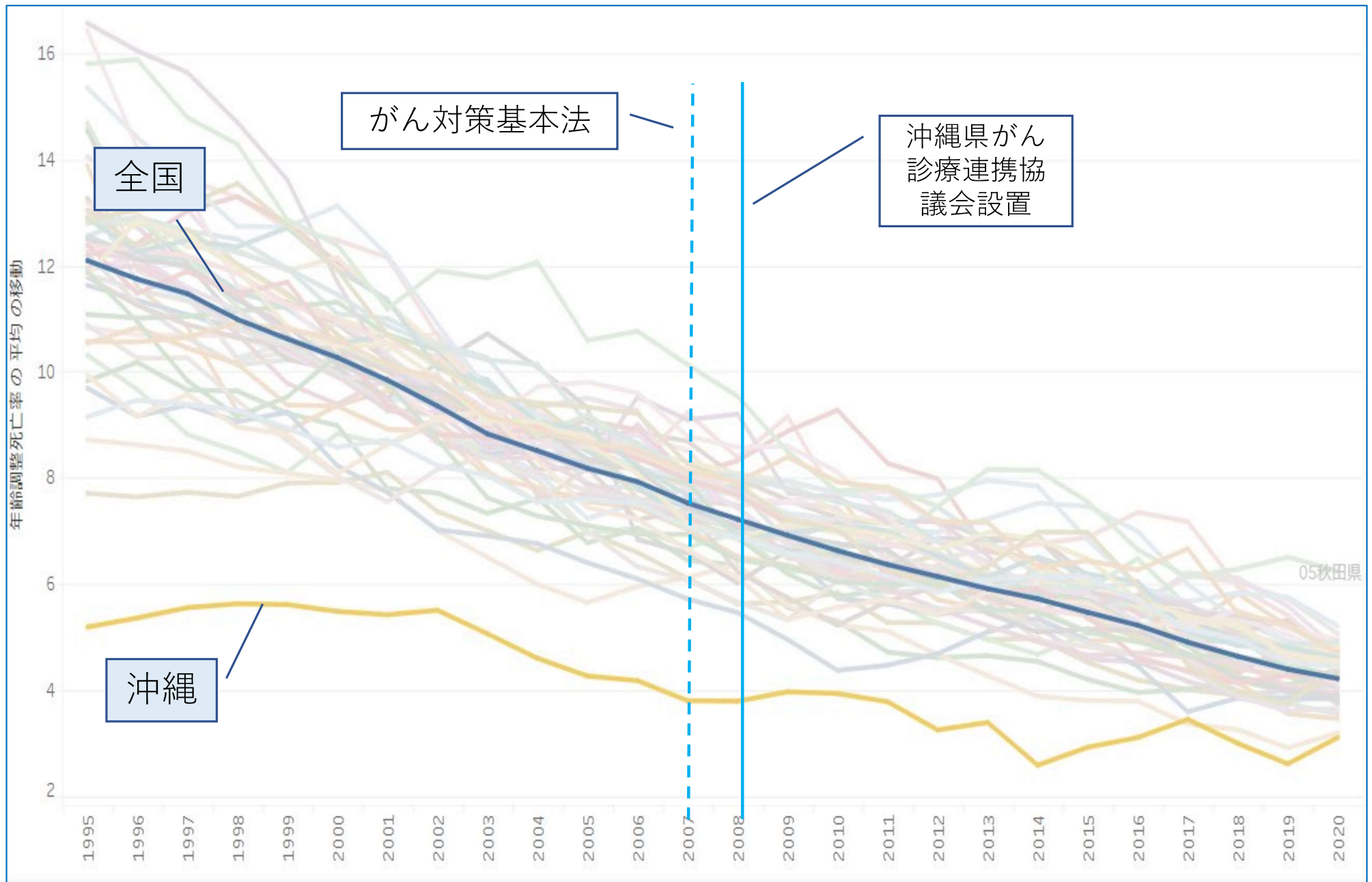
死亡率25年推移（3年移動平均） 直腸がん（男）



死亡率25年推移（3年移動平均） 結腸がん（男）



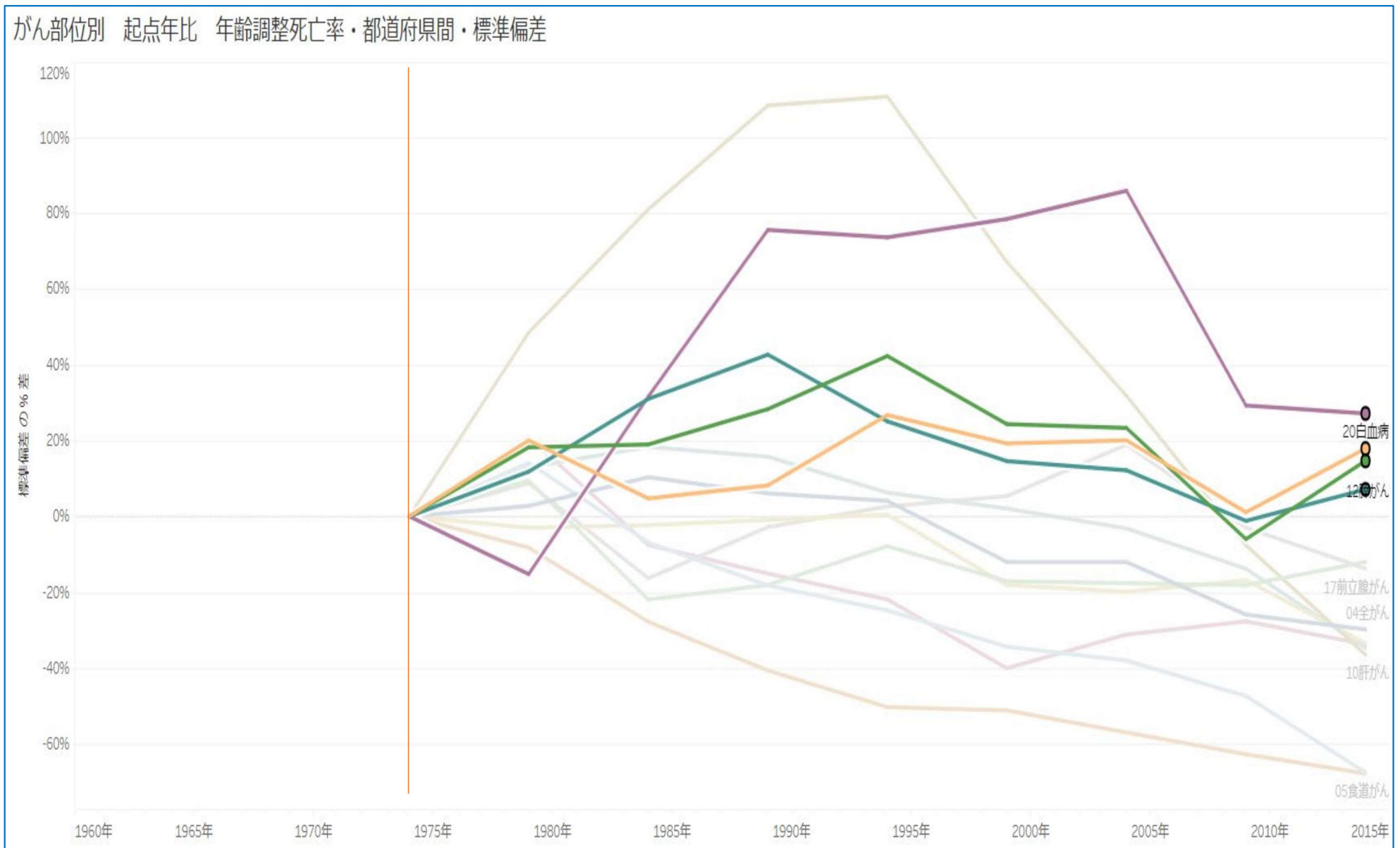
死亡率25年推移（3年移動平均） 胃がん（女）。ベストから急速に中位方向へ



パート4
都道府県別
年齢調整死亡率
県間差
40年間長期動向

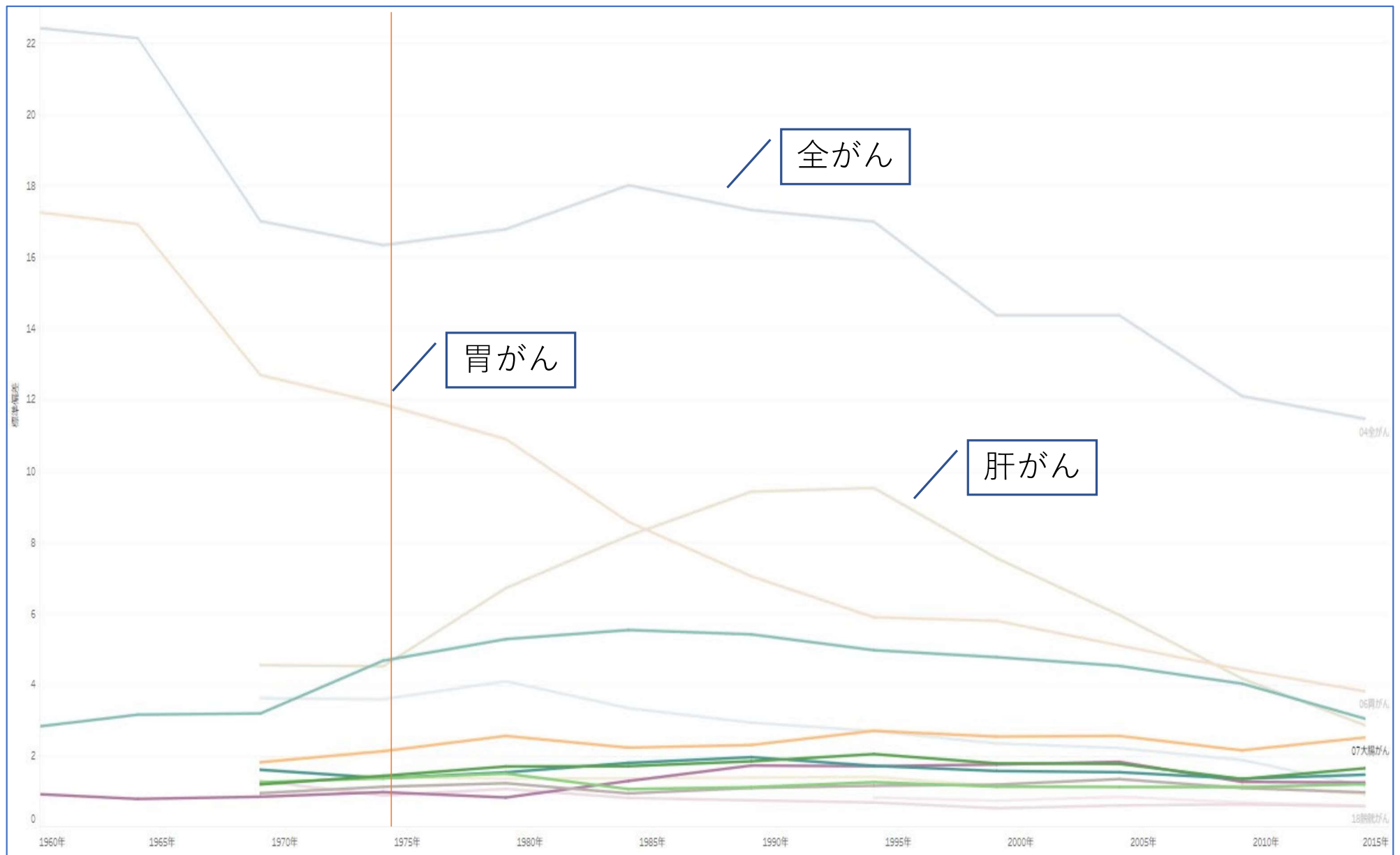


47都道府県間 標準偏差 部位別 男 1975年比40年推移 (1975-2015年)



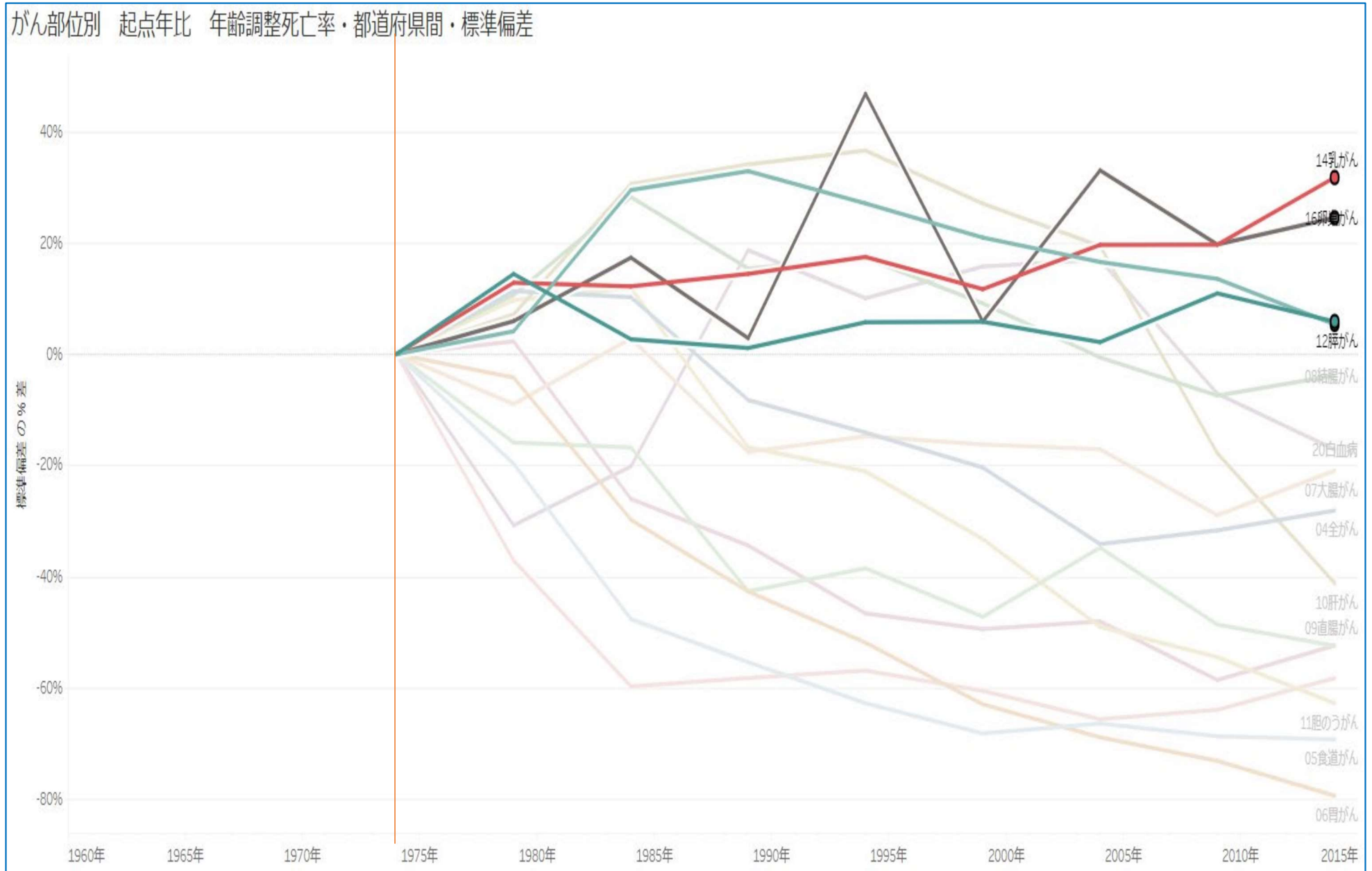
全がんより県間差縮小が小さい部位にマーク。白血病、大腸、前立腺、肺、膵

47都道府県間 標準偏差 部位別 男 55年推移 (1960-2015年)



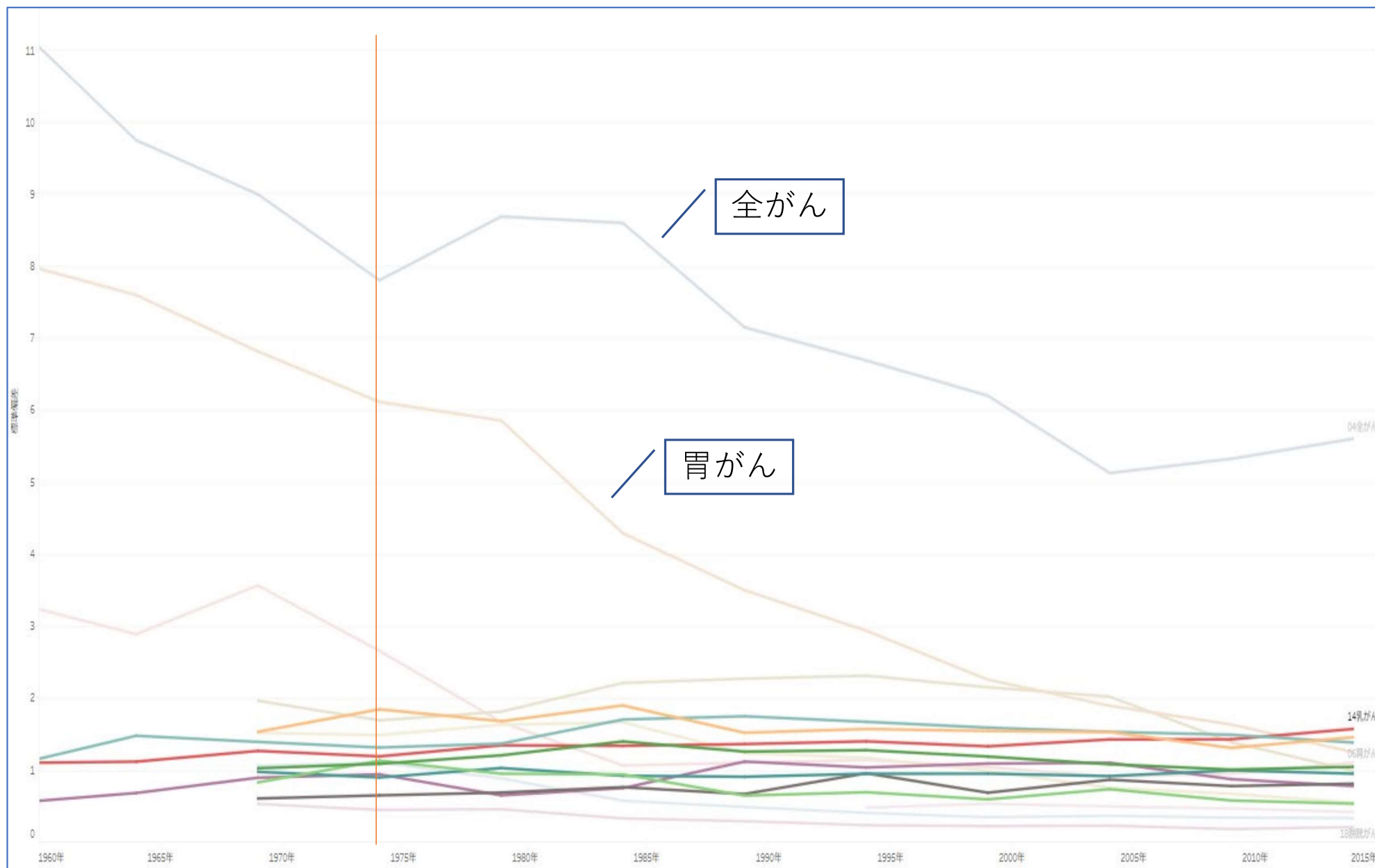
前ページにマークした部位にマーク。胃、肝のように縮小していない

47都道府県間 標準偏差 部位別 女 1975年比40年推移 (1975-2015年)



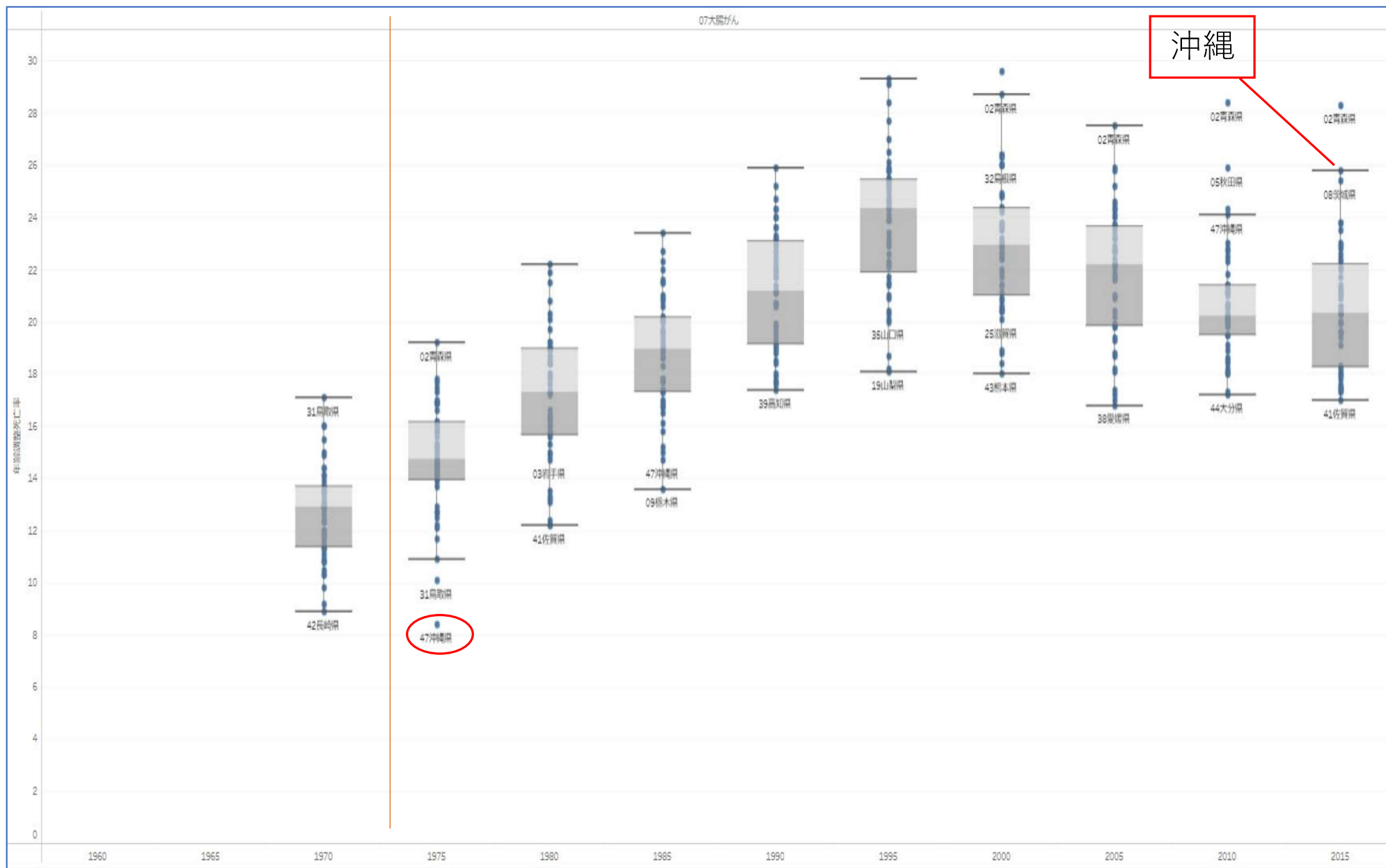
全がんより県間差縮小が小さい部位にマーク。乳、卵巣、肺、膵

47都道府県 標準偏差 部位別 女 55年推移 (1960-2015年)



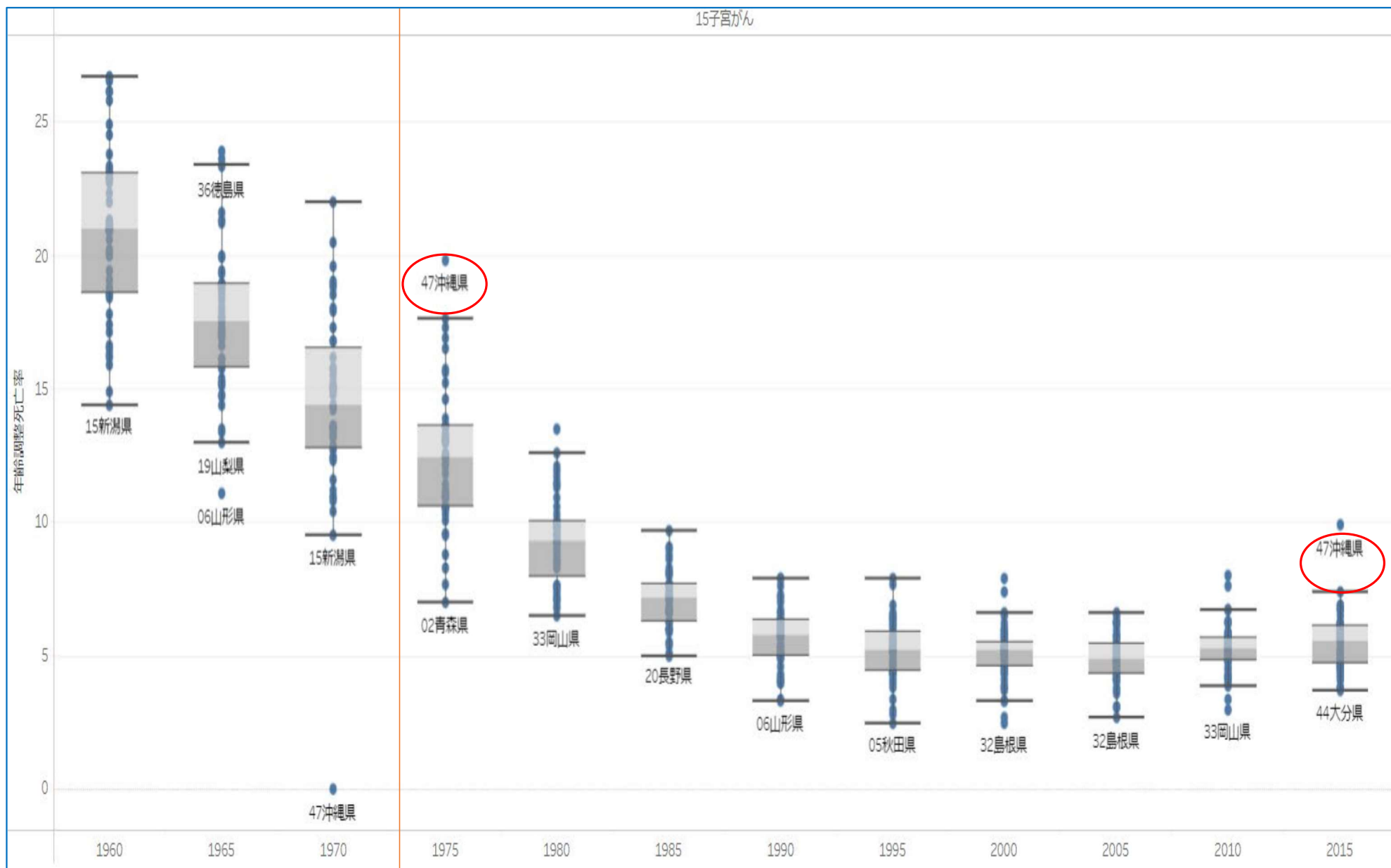
前ページにマークした部位にマーク。胃のように縮小していない

47都道府県 年齢調整死亡率 大腸がん（男）45年推移（1970-2015年）箱ひげ図



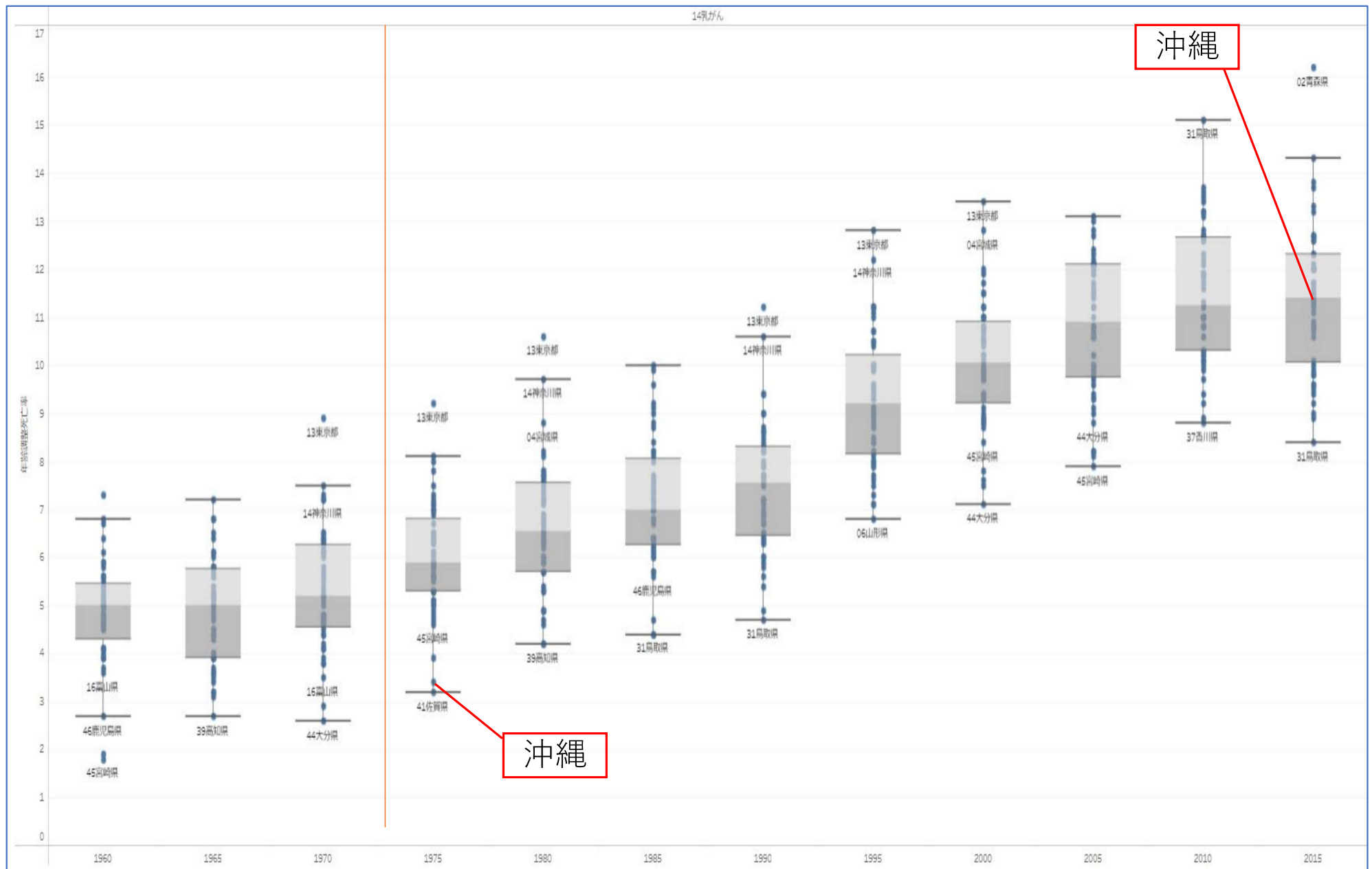
死亡率上昇後緩やかな下降。県間差縮小わずか。沖縄はベストからワースト2へ

47都道府県 年齢調整死亡率 子宮がん 45年推移 (1970-2015年) 箱ひげ図



リバウンドぎみ。沖縄は1975年も2015年もワースト

47都道府県 年齢調整死亡率 乳がん 55年推移 (1960-2015年) 箱ひげ図

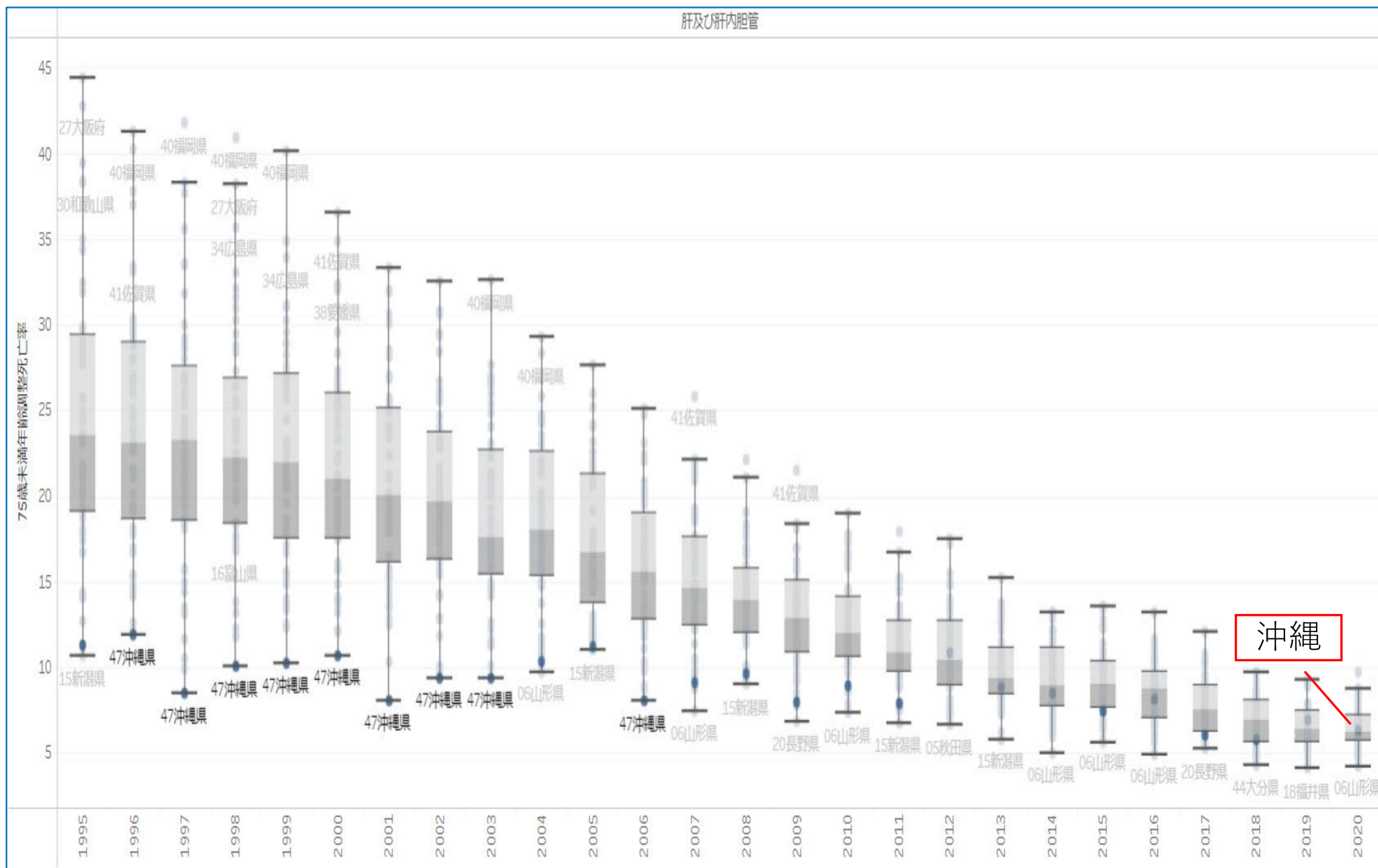


死亡率は上昇、県間差は縮小なし。沖縄はベストクラスから中位へ

パート5
都道府県別
年齢調整死亡率
県間差
25年間長期動向

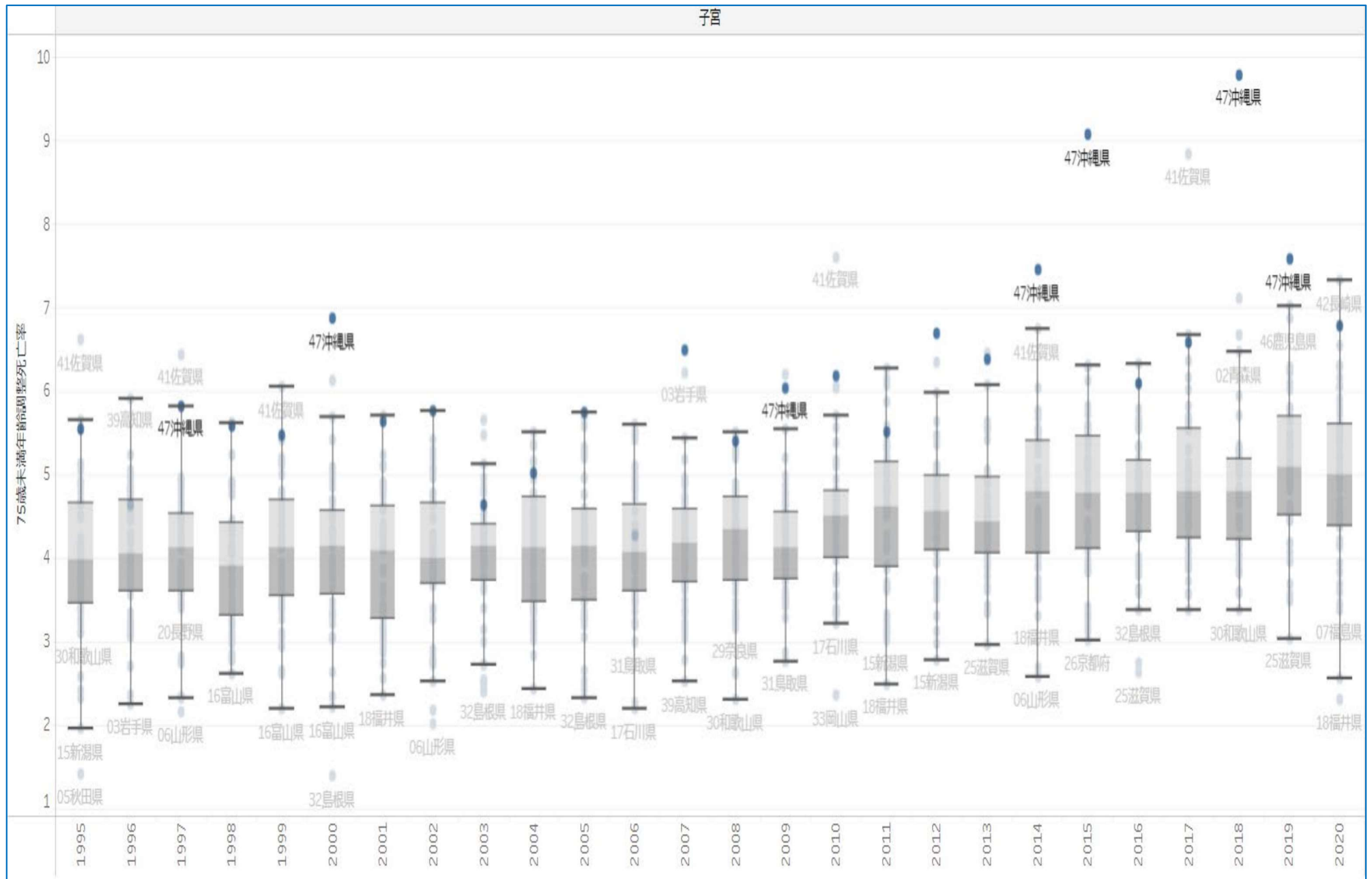


肝がん（男）死亡率25年間推移。均てん化が比較的進んだ部位。全体動向と沖縄の位置



全体に死亡率低下、差縮小。沖縄はベストから中位へ

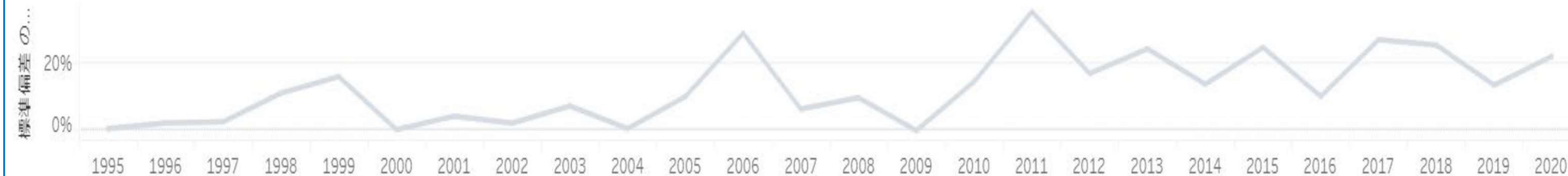
子宮がん死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかった部位。全体と沖縄の位置



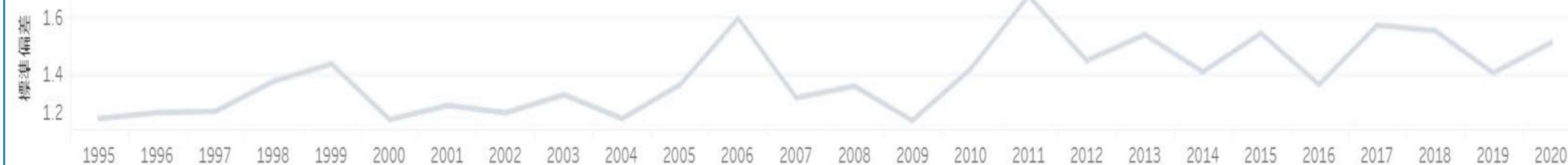
全国は、死亡率上昇、差拡大の懸念。沖縄はワーストレベル

乳がん死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかった部位。全体と沖縄の位置

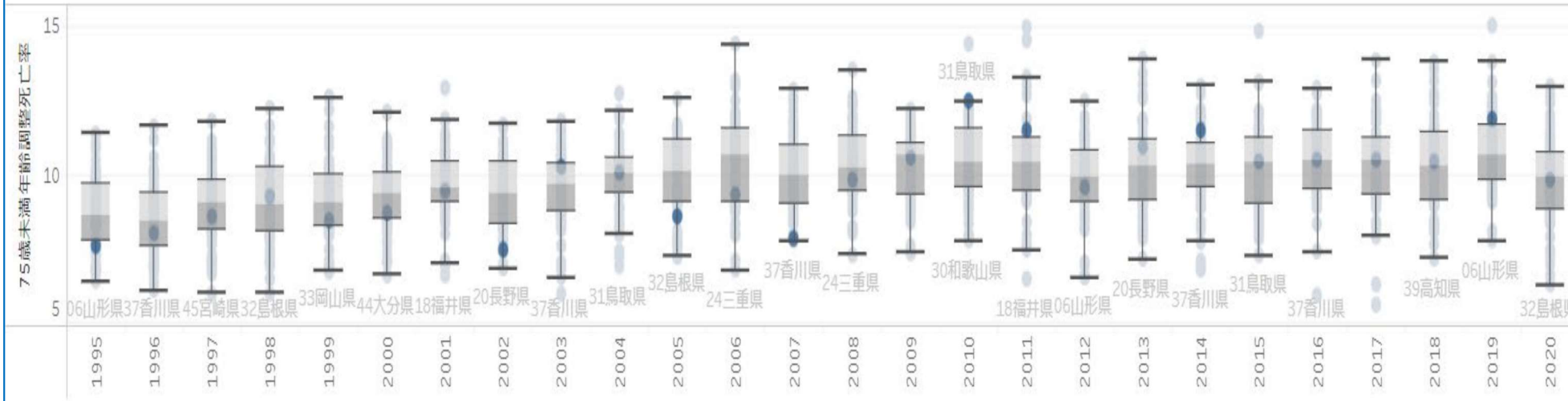
乳がん 県間偏差 当初年比



乳がん 県間偏差 推移



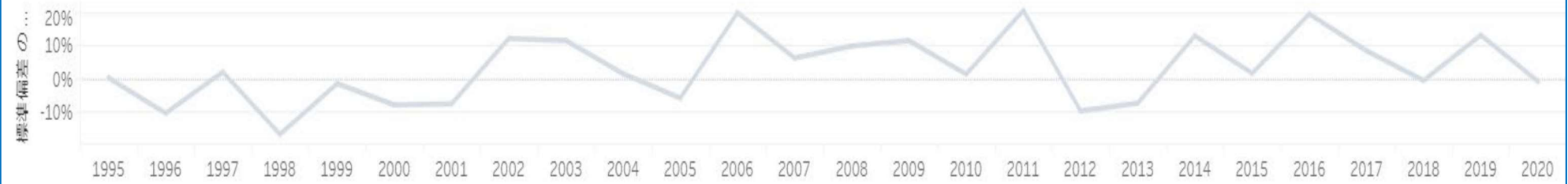
乳がん 死亡率 推移 箱ひげ図



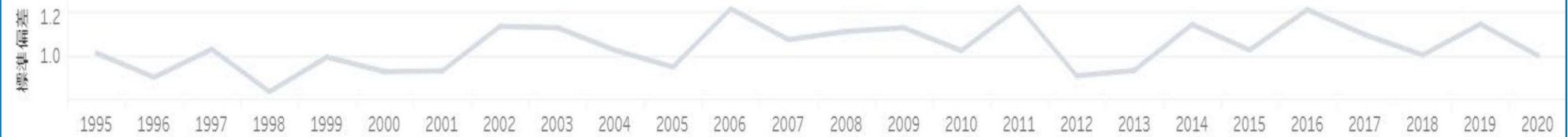
全国は顕著な死亡率低下、差縮小が見られない。沖縄は中位

直腸がん（男）死亡率25年間推移。均てん化が比較的進まなかった。全体と沖縄の位置

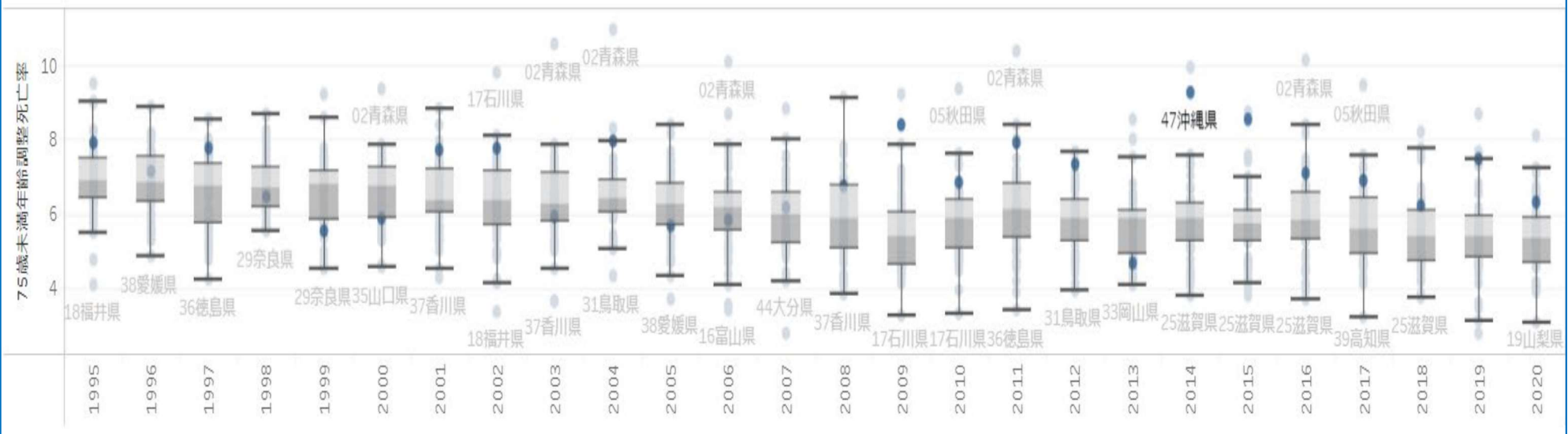
直腸がん 男 県間偏差 当初年比



直腸がん 男 県間偏差 推移



直腸がん 男 死亡率 推移 箱ひげ図

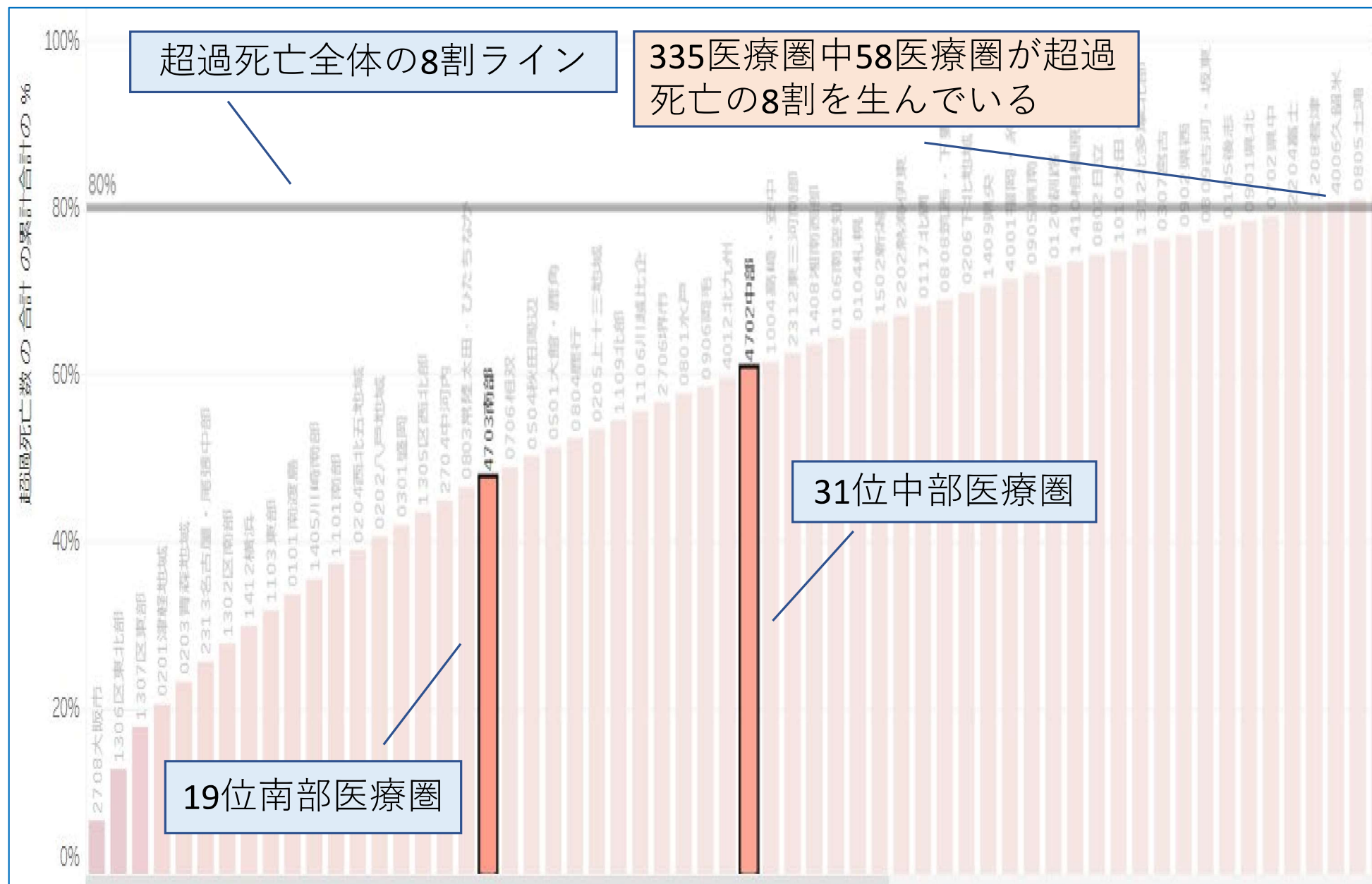


全国は死亡率微減、差は縮小なし。沖縄は高位で推移

パート6
医療圏別
超過死亡数



大腸がん（男） 58の医療圏が超過死亡の8割を生じさせている



超過死亡8割を生む58医療圏に沖縄からは2医療圏が入っている

そのうち南部医療圏は19位で77人を中部医療圏は31位で58人の超過死亡がある

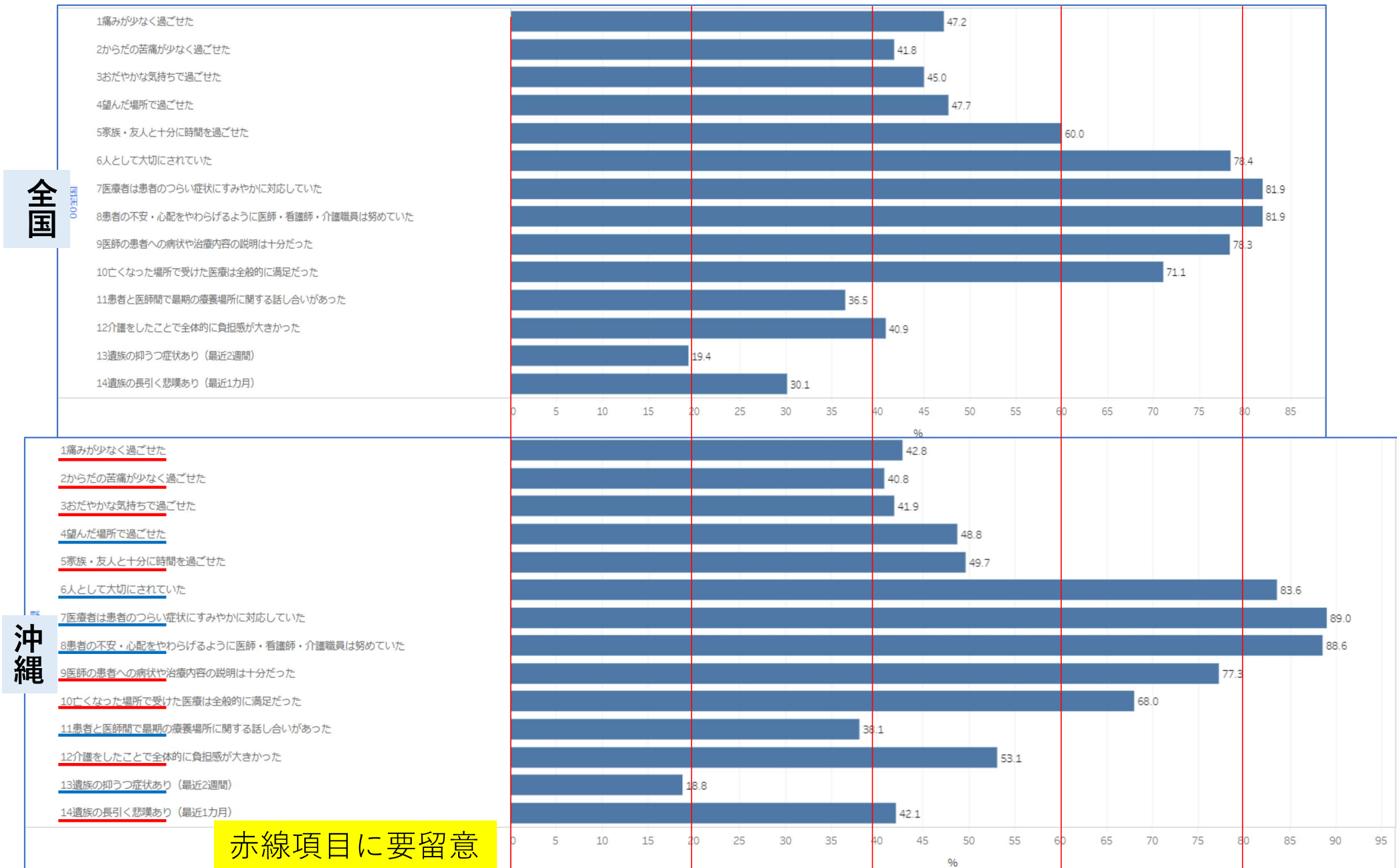


沖縄が2医療圏の超過死亡をゼロにすれば、地域にも全国にも朗報

パート7
遺族調査結果



遺族調査結果（全国値と沖縄県値） 改善余地を検討



赤線項目に要留意

原注：都道府県別の結果は、対象者数が少ないため誤差が非常に大きいとともに、各都道府県の状況が異なるため、単純な比較は困難であり、参考値とすべきである。

出典：厚生労働省委託事業 がん患者の療養生活の最終段階における実態把握事業 患者さまが受けられた医療に関するご遺族の方への調査 平成30年度調査結果報告書 国立がん研究センター がん対策情報センター 2020年10月

パート8 がん部位別 化学療法実施状況

オーバーユース、アンダーユースがない
か確認

- * 医療機関所在地ベース。
- * 医療機関数が3未満となる場合は表示
されない。

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 入院・外来医療圏別

大腸がん 主病名 入院・外来						
	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	96.0	95.0	79.3	94.4	57.3
2	4211002経口用エンドキサン原末			376.6		
3	4211401注射用エンドキサン		65.7	132.3		
4	4223005ゼローダ錠3		94.9	161.1		
5	42234015-FU注		92.5	70.0		
6	4224403ジェムザール注射用			14.8		
7	4229100ユーエフティE配合顆粒		12.8	31.6		
8	4229101ティーエスワン配合顆粒		49.0	118.2		
9	4231400マイトマイシン注用			42.6		
10	4235402ドキシル注		61.1	165.1		
11	4240404トポテシン点滴静注		89.6	101.2		
12	4240405タキソテール点滴静注用		96.0	43.1		
13	4240406タキソール注射液		75.7	89.3		
14	4240407ナベルビン注		218.6	293.4		
15	4240409アブラキサン点滴静注用			12.6		
16	4291009カンデックス錠		35.9	8.1		
17	4291010アリミデックス錠			42.9		
18	4291011グリベック錠			13.4		
19	4291015フェマーラ錠		41.4	247.6		
20	4291018スーテントカプセル			157.5		
21	4291024レブラミドカプセル		207.3			
22	4291029スチバーガ錠		46.4	36.6		
23	4291401動注用アイエーコール		17.4	58.6		
24	4291403パラプラチン注射液		87.4	44.1		
25	4291410エルプラット点滴静注液		108.4	83.5		
26	4291413アバスチン点滴静注用		85.6	85.8		
27	4291415アービタックス注射液		130.2	113.3		
28	4291417ベクティビックス点滴静注		103.4	56.3		
29	4291419ビダーザ注射用			700.6		
30	4291421フェソロデックス筋注			100.5		
31	4291427オブジーボ点滴静注			286.4		
32	4291429サイラムザ点滴静注液		148.8	92.2		
33	4291435キイトルーダ点滴静注		83.1	28.1		
34	4291436ザルトラップ点滴静注			69.0		
35	4299100ロンサーフ配合錠T			46.1		

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 入院 医療圏別

大腸がん 主病名 入院	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	10.2	39.4	85.8	63.6	115.6
2	4211002経口用エンドキサン原末			919.8		
3	4223005ゼローダ錠3		74.7	80.0		
4	42234015-FU注		30.4	87.9		
5	4229100ユーエフティE配合顆粒		31.0			
6	4229101ティーエスワン配合顆粒		59.9	96.5		
7	4231400マイトマイシン注用			58.9		
8	4235402ドキシル注			118.6		
9	4240404トポテシン点滴静注		34.2	104.3		
10	4240406タキソール注射液			72.2		
11	4240409アブラキサン点滴静注用			206.9		
12	4291009カンデックス錠		68.5	23.1		
13	4291010アリミデックス錠			87.9		
14	4291011グリベック錠			198.8		
15	4291015フェマーラ錠		199.5	132.5		
16	4291018スーテントカプセル			943.0		
17	4291024レブラミドカプセル		5157.0			
18	4291029スチバーガ錠		161.9	21.9		
19	4291401動注用アイエーコール		28.2	57.1		
20	4291403パラプラチン注射液			51.4		
21	4291410エルプラット点滴静注液		38.4	82.0		
22	4291413アバスチン点滴静注用		23.5	109.3		
23	4291415アービタックス注射液		89.9	170.5		
24	4291417ベクティビックス点滴静注		45.4	74.3		
25	4291427オプジーボ点滴静注			1520.6		
26	4291429サイラムザ点滴静注液		37.5	43.4		
27	4291435キイトルーダ点滴静注		229.8	155.2		
28	4291436ザルトラップ点滴静注			38.3		
29	4299100ロンサーフ配合錠T			68.1		

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデータ一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二

大腸がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 外来 医療圏別

大腸がん 主病名 外来						
	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	122.2	111.9	77.3	103.8	39.7
2	4211401注射用エンドキサン		78.1	157.3		
3	4223005ゼローダ錠3		104.7	200.5		
4	42234015-FU注		127.2	60.0		
5	4224403ジェムザール注射用			15.8		
6	4229100ユーエフティE配合顆粒		9.9	36.6		
7	4229101ティーエスワン配合顆粒		43.8	128.5		
8	4235402ドキシル注		93.5	189.8		
9	4240404トポテシン点滴静注		109.2	100.1		
10	4240405タキソテール点滴静注用		107.0	48.0		
11	4240406タキソール注射液		92.1	92.9		
12	4240407ナベルピン注		234.9	315.1		
13	4291009カソデックス錠		18.4			
14	4291010アリミデックス錠			28.4		
15	4291015フェマーラ錠			277.7		
16	4291024レブラミドカプセル		71.0			
17	4291029スチバーガ錠		10.2	41.2		
18	4291401動注用アイエーコール			61.0		
19	4291403パラプラチン注射液		122.4	41.2		
20	4291410エルプラット点滴静注液		137.2	84.2		
21	4291413アバスチン点滴静注用		101.5	79.8		
22	4291415アービタックス注射液		142.3	96.2		
23	4291417ベクティビックス点滴静注		125.0	49.6		
24	4291419ビダーザ注射用			875.3		
25	4291421フェソロデックス筋注			102.1		
26	4291429サイラムザ点滴静注液		203.9	116.3		
27	4291435キイトルーダ点滴静注		60.1	8.1		
28	4291436ザルトラップ点滴静注			82.9		
29	4299100ロンサーフ配合錠T			39.3		

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 入院・外来 医療圏別

乳がん (主病名) 入院・外来		医療圏名				
		4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	37.7	60.9	193.0	73.8	59.0
2	4211002経口用エンドキサン原末			315.5		
3	4211401注射用エンドキサン		80.2	117.8		
4	4222400メントレキセート点滴静注液			74.1		
5	4223005ゼローダ錠3			334.3		
6	42234015-FU注		18.1	24.6		
7	4224403ジェムザール注射用		44.1	77.0		
8	4229100ユーエフティE配合顆粒			2297.5		
9	4229101ティーエスワン配合顆粒		41.6	260.4		
10	4235402ドキシル注		283.8	51.4		
11	4235404ファルモルピシンRTU注射液		4.5	156.7		
12	4240400オンコピン注射用			675.8		
13	4240404トポテシン点滴静注			100.9		
14	4240405タキンテール点滴静注用		88.2	99.4		
15	4240406タキソール注射液		51.9	135.4		
16	4240407ナベルピン注		12.1	114.4		
17	4240409アブラキサン点滴静注用		20.2	98.6		
18	4291003ノルバデックス錠		28.7	344.0	38.5	66.2
19	4291007フェアストーン錠			122.0		
20	4291010アリミデックス錠	30.9	4.2	243.0		
21	4291012アロマシン錠		8.8	671.7		
22	4291015フェマーラ錠	34.2	62.2	302.9		283.8
23	4291022タイケルブ錠			650.8		
24	4291023アフィニトール錠			862.2		
25	4291024レブラミドカプセル			923.8		
26	4291051イブランスカプセル			197.3		
27	4291401動注用アイエーコール			199.5		
28	4291403パラプラチン注射液		116.6	166.2		
29	4291406ハーセプチン注射用		97.1	136.0		
30	4291410エルプラット点滴静注液		75.9	67.3		
31	4291413アバスチン点滴静注用		34.6	70.9		
32	4291420ハラヴェン静注		27.5	181.1		
33	4291421フェソロデックス筋注		90.8	126.9		
34	4291424パージェタ点滴静注		107.7	176.2		
35	4291426カドサイラ点滴静注用			132.9		
36	4299400ピシバニール注射用			347.2		
37	4299405ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤		101.0	68.3		

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデータ一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二

次医療圏

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 入院 医療圏別

乳がん 主病名 入院	医療圏名	4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体	72.5	60.0	139.5	105.9	30.2
2	4211401注射用エンドキサン		29.0	122.1		
3	4223005ゼローダ錠3			108.3		
4	42234015-F-U注			5.3		
5	4224403ジェムザール注射用		111.8	225.3		
6	4229101ティーエスワン配合顆粒		61.3			
7	4235402ドキシル注		140.6	77.8		
8	4235404ファルモルピシンR T U注射液		3.0	154.2		
9	4240405タキソテール点滴静注用		15.6	68.9		
10	4240406タキソール注射液		32.6	68.9		
11	4240409アブラキサン点滴静注用			103.4		
12	4291003ノルバデックス錠		185.5	244.4	157.8	161.1
13	4291007フェアストーン錠			355.7		
14	4291010アリミデックス錠	491.8	48.3	272.3		
15	4291012アロマシン錠		149.5	40.3		
16	4291015フェマーラ錠	175.1	294.2	316.2		
17	4291022タイケルブ錠			468.2		
18	4291023アフィニトール錠			198.4		
19	4291024レブラミドカプセル			5660.4		
20	4291401動注用アイエーコール			101.0		
21	4291403パラプラチン注射液			245.2		
22	4291406ハーセプチン注射用		20.6	124.0		
23	4291413アバスチン点滴静注用		19.9	60.6		
24	4291420ハラヴェン静注		45.3	173.2		
25	4291421フェソロデックス筋注		44.6	45.0		
26	4291424パージェタ点滴静注		10.7	133.6		
27	4291426カドサイラ点滴静注用			148.5		
28	4299400ピシバニール注射用			526.7		
29	4299405ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤		102.0	68.9		

乳がん化学療法 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) (2019年) 外来 医療圏別

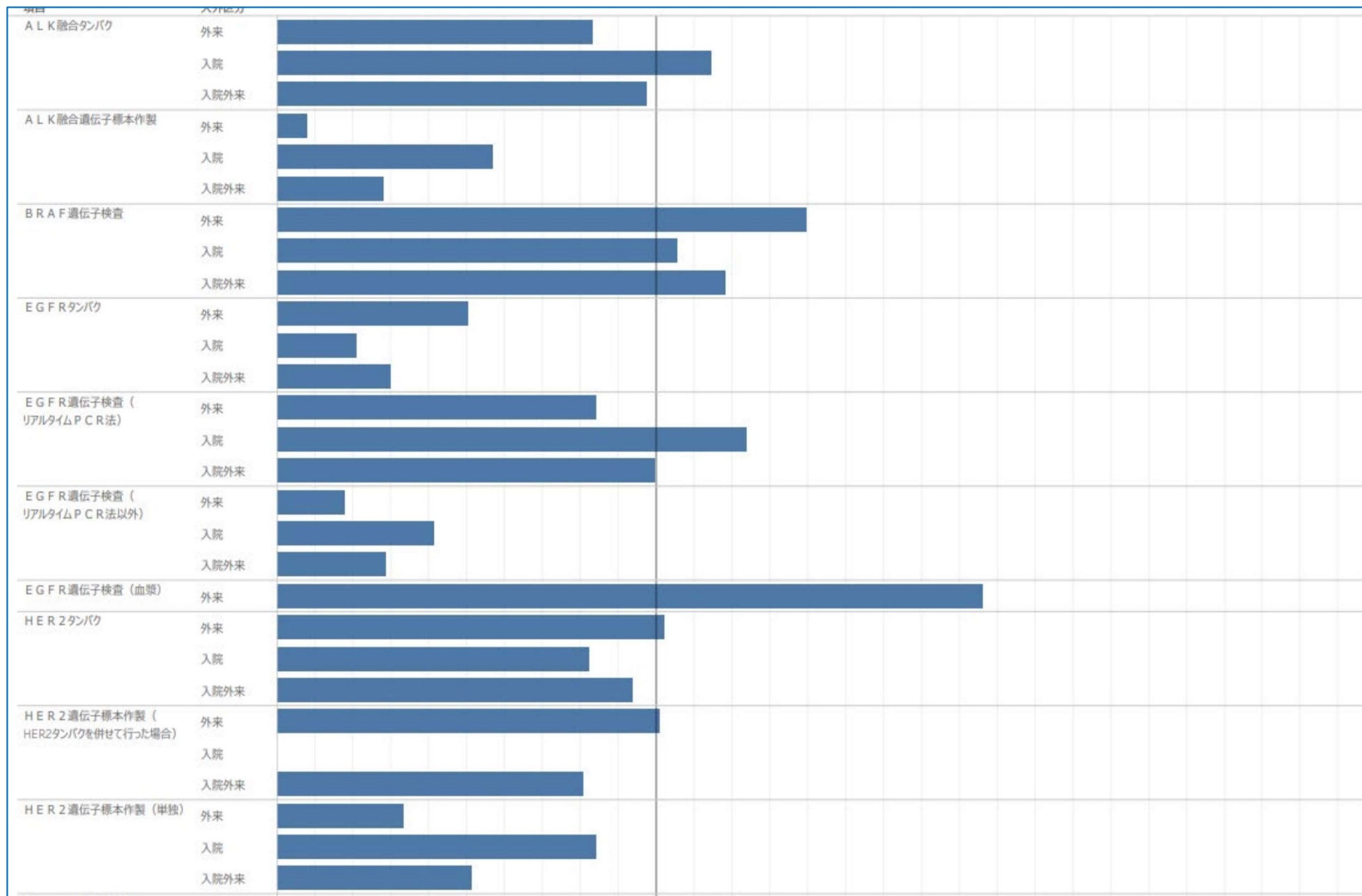
乳がん	主病名	外来	医療圏名				
			4701北部	4702中部	4703南部	4704宮古	4705八重山
1	42xxxxx化学療法剤全体		34.9	61.0	197.4	71.1	61.4
2	4211002経口用エンドキサン原末				360.9		
3	4211401注射用エンドキサン			94.2	116.6		
4	4222400メソトレキセート点滴静注液				85.2		
5	4223005ゼローダ錠3				349.7		
6	42234015-FU注			22.9	29.7		
7	4224403ジェムザール注射用			38.3	64.3		
8	4229100ユーエフティE配合顆粒				2340.9		
9	4229101ティーエスワン配合顆粒			39.5	288.4		
10	4235402ドキシル注			320.6	44.6		
11	4235404ファルモルピシンRTU注射液			5.0	157.4		
12	4240400オンコビン注射用				762.7		
13	4240404トポタシン点滴静注				114.2		
14	4240405タキソテル点滴静注用			105.1	106.5		
15	4240406タキソール注射液			54.6	144.4		
16	4240407ナベルピン注			13.2	124.1		
17	4240409アブラキサン点滴静注用			23.3	97.9		
18	4291003ノルバデックス錠			22.5	348.0	33.4	62.4
19	4291007フェアストーン錠				111.0		
20	4291010アリミデックス錠			1.3	241.2		
21	4291012アロマシン錠				710.8		
22	4291015フェマーラ錠		25.0	47.7	302.0		301.6
23	4291022タイケルブ錠				664.1		
24	4291023アフィニトール錠				900.3		
25	4291024レブラミドカプセル				578.2		
26	4291051イブランスカプセル				202.4		
27	4291401動注用アイエーコール				295.4		
28	4291403パラプラチン注射液			144.5	147.2		
29	4291406ハーセプチン注射用			103.0	136.9		
30	4291410エルプラット点滴静注液			81.6	72.4		
31	4291413アバスチン点滴静注用			36.2	72.1		
32	4291420ハラヴェン静注			25.9	181.8		
33	4291421フェンロデックス筋注			91.4	128.0		
34	4291424パージェタ点滴静注			117.3	180.4		
35	4291426カドサイラ点滴静注用				131.9		

出典：内閣府 医療提供状況の地域差 SCRデータ一覧 令和元(2019)年度診療分 癌の化学療法 二

パート9 遺伝子マーカー等 検査実施状況

オーバークラス、アンダークラスがないか確認

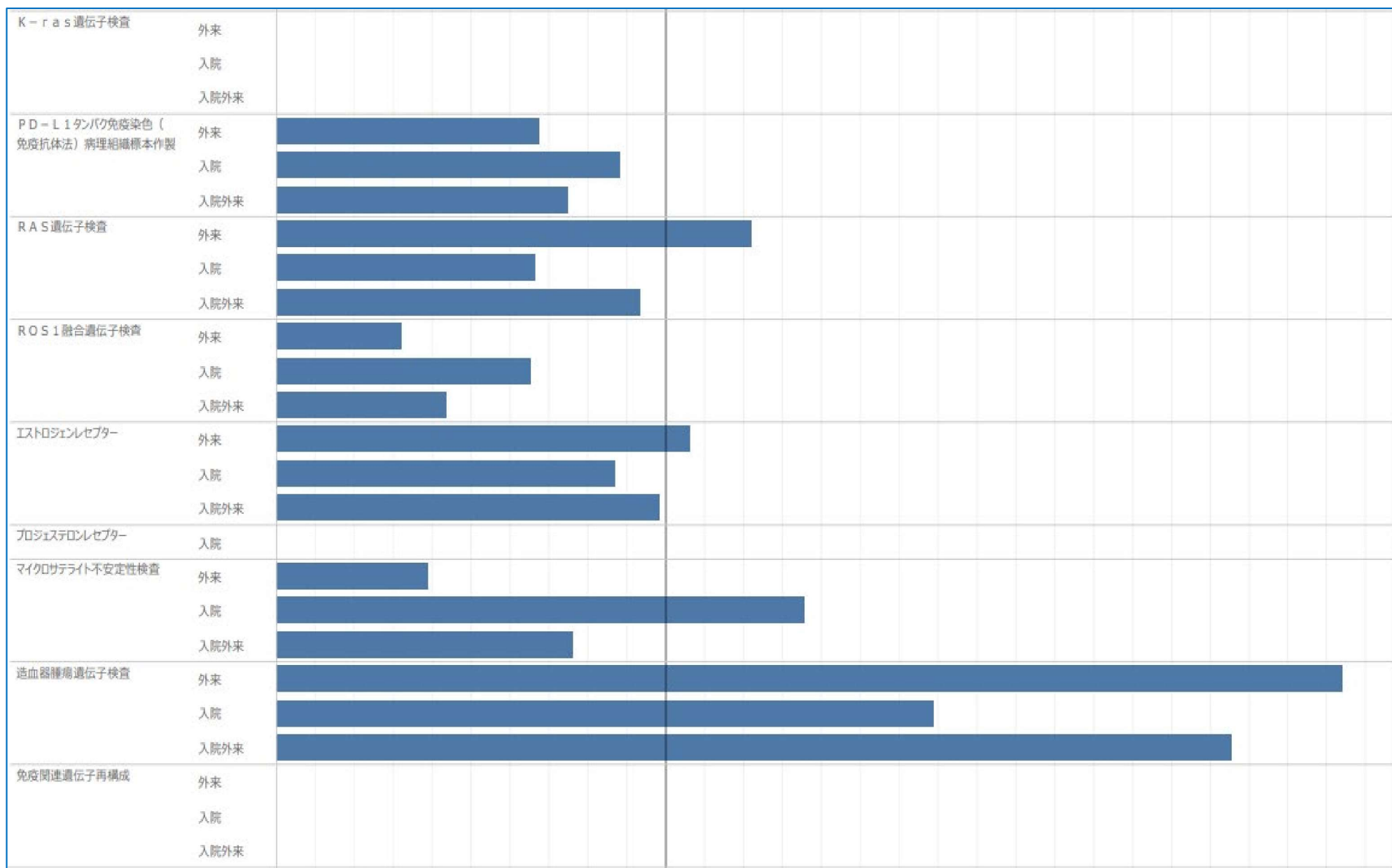
- * 医療機関所在地ベース。
- * 医療機関数が3未満となる場合は表示されない。



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

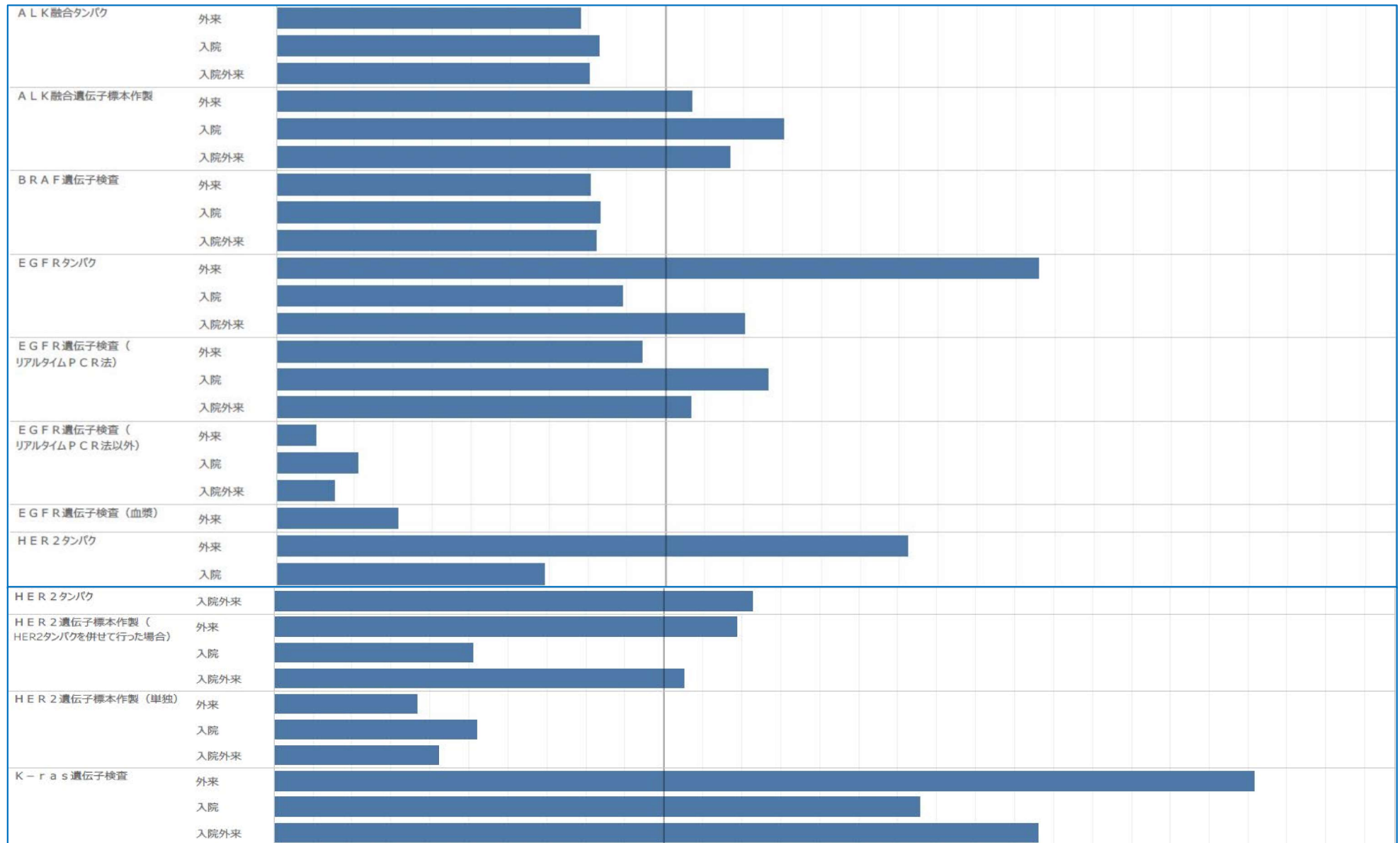
次医療圏 診療行為コード



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

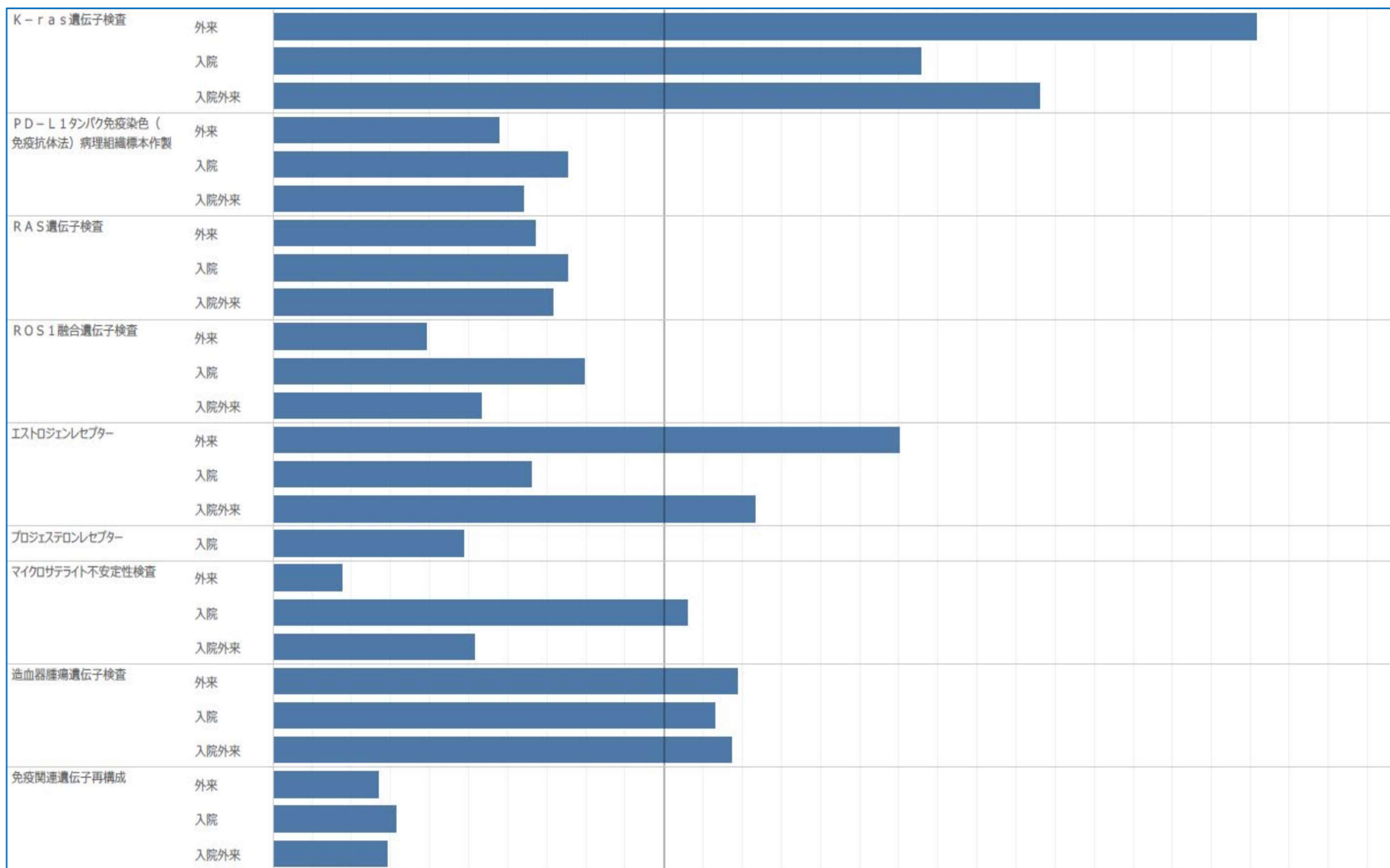
次医療圏 診療行為コード



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

次医療圏 診療行為コード



https://public.tableau.com/app/profile/ken.hanioka/viz/NDB-SCR2019_16493289092960/sheet0

出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年 二

次医療圏 診療行為コード

パート10 免疫チェックポイント阻害薬 使用状況

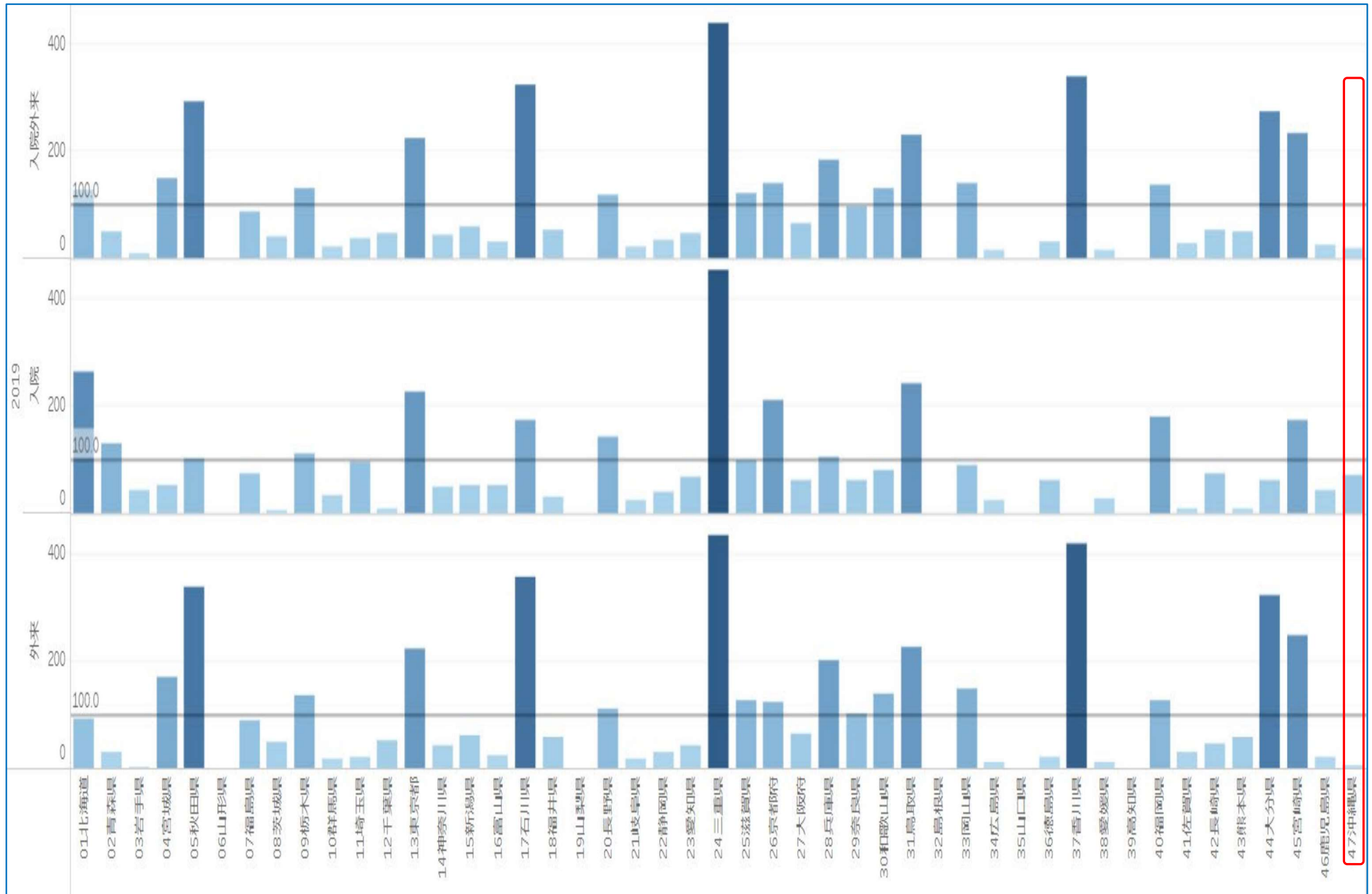
オーバーユース、アンダーユースがない
か確認

- * 医療機関所在地ベース。
- * 医療機関数が3未満となる場合は表示
されない。

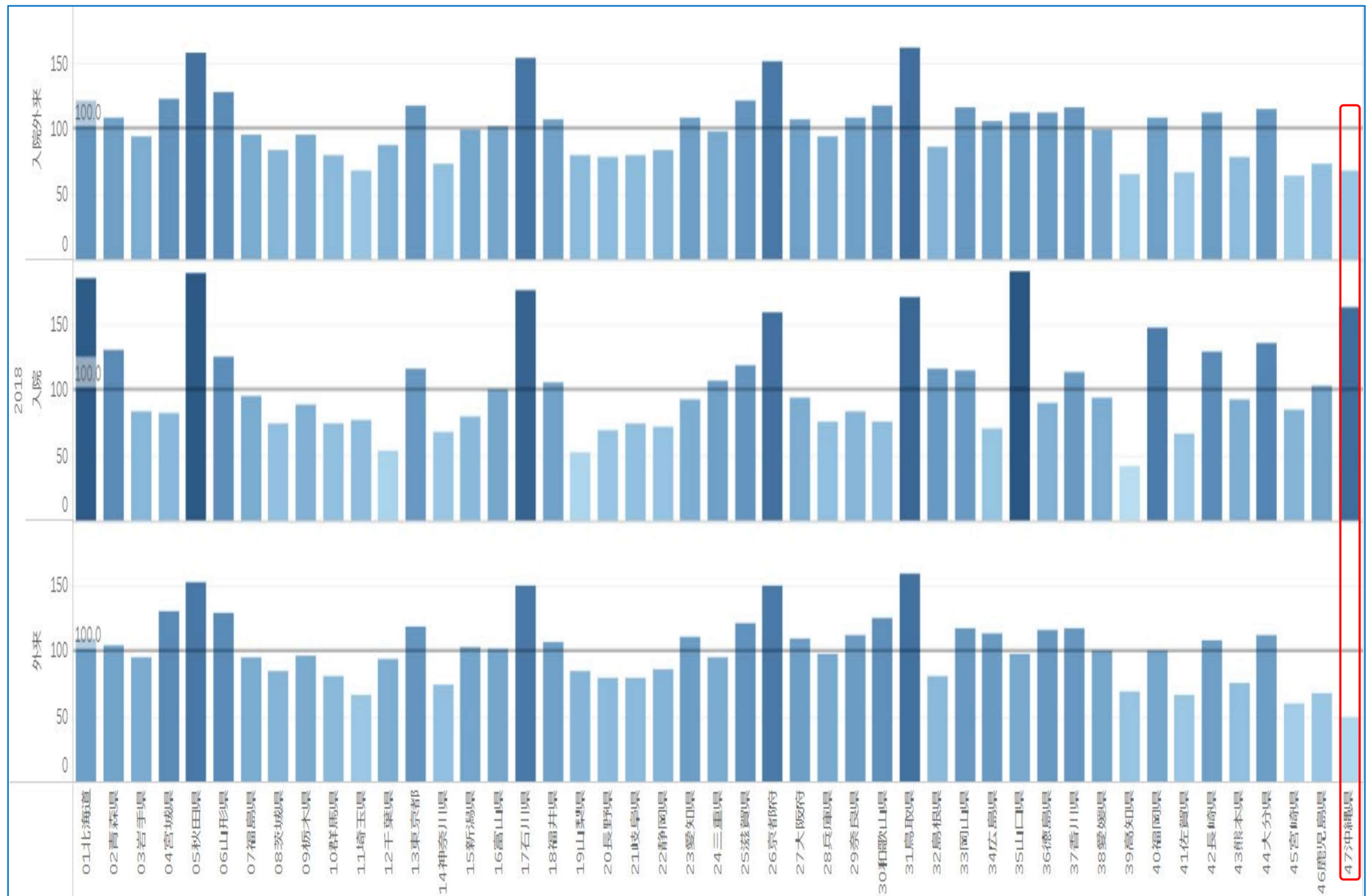
オプジーボ 標準化レセプト出現比 (NDB-SCR) 入院 (2016-2019年)

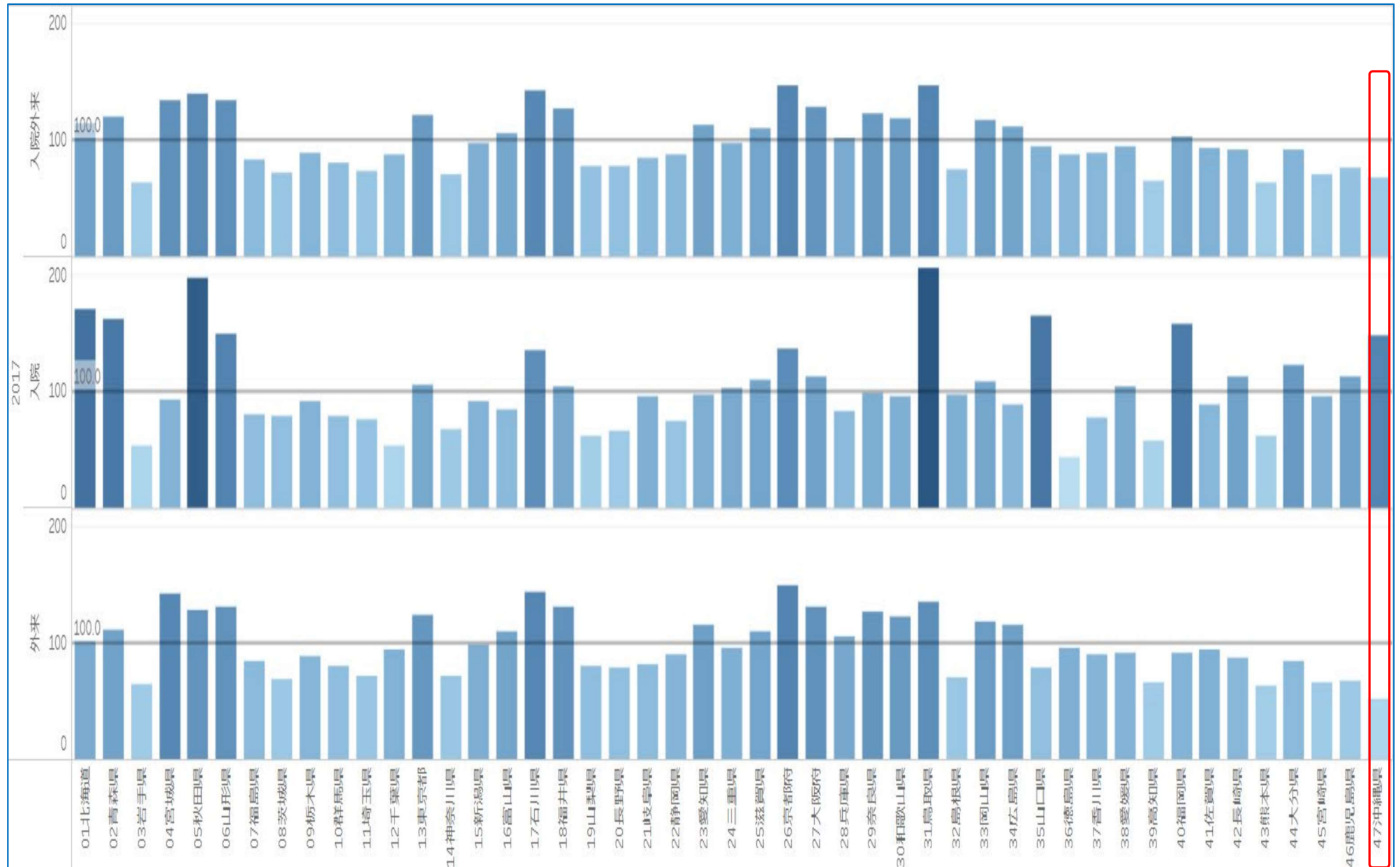


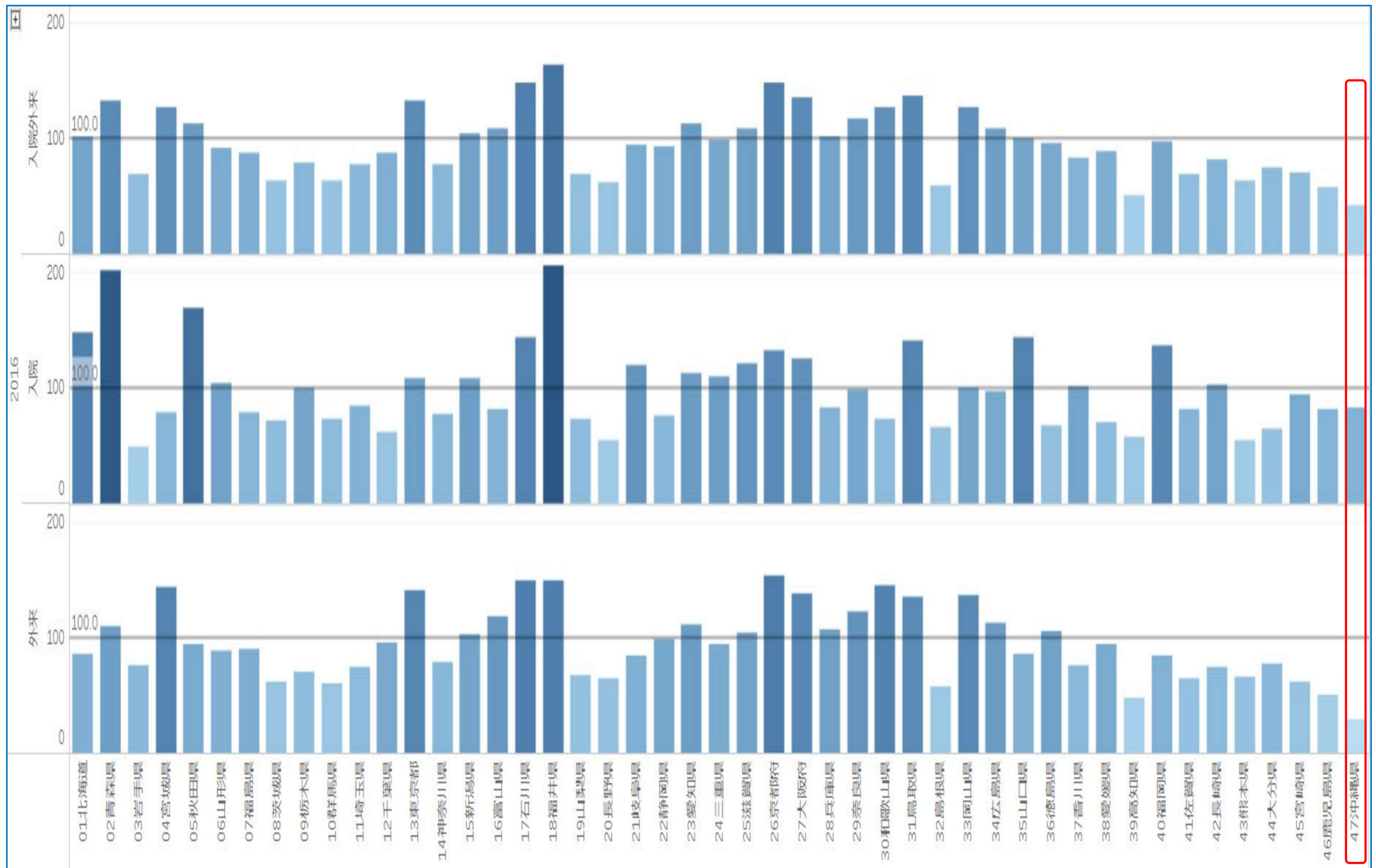
出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁



出典：内閣府 医療提供体制の地域差 SCRデータ一覧 2019年、2018年、2017年、2016年 都道府県 薬剤薬効7桁







まとめ



まとめ

- オープンデータから沖縄県のがんの状況を理解することができる部分があるだろう。
- これまで適宜紹介してきたところだが、いくつか追加的にご紹介した。
- 議論や考察の一助になるところがあれば、幸いである。議論や考察を進めていただきたい。
- 沖縄県連携協議会として、重要データに関して、恒常的・定点観測的にデータ集がレポートされることが望ましいと考える。